

青森県ドクターヘリ運航に係る  
実績報告書  
(令和4年度)

## 目 次

はじめに	1
運航実績報告書作成の目的	2
運航実績報告対象期間と報告方法	2
本報告書における用語の定義	2
1 運航状況全体に関する報告	
【報告】 運航状況全体に関する報告	3
(1) 二次保健医療圏延べ要請件数	5
(2) 要請区分別出動件数	6
(3) 二次保健医療圏別出動件数	7
(4) 理由別不出動件数	8
(4) 北東北3県ドクターヘリの広域連携実施状況	11
【参考】 令和4年度消防本部別運航実績数	13
【参考】 令和4年度二次保健医療圏別延べ要請件数	13
【参考】 北東北3県ドクターヘリ基地病院からの半径100km圏	14
2 令和4年度の運航実績の報告	
(施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く)	
【報告】 令和4年度の運航実績の報告（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）	15
(1) 市町村別出動件数	17
(2) ドクターヘリ出動に係る傷病者の搬送方法	18
(3) ドクターヘリ出動に係る傷病者の搬送先医療機関	20
(4) ドクターヘリ出動に係る傷病者の疾患分類	24
(5) 覚知から医療機関搬送までの時間	28
3 令和4年度の施設間搬送に係る運航実績の報告	
【報告】 令和4年度の施設間搬送の報告	30
(1) 県病ヘリ	31
(2) 八戸ヘリ	33
4 2機体制による効果の報告	
【報告】 2機体制による効果の報告	35
2機体制による効果	36

## ○ はじめに

本県は2つの半島を含む広い県土を有しているという地理的条件の下で、医師不足の問題を抱えているため、限られた医療資源を有効に活用し、質の高い救急医療を提供することが大きな課題であった。

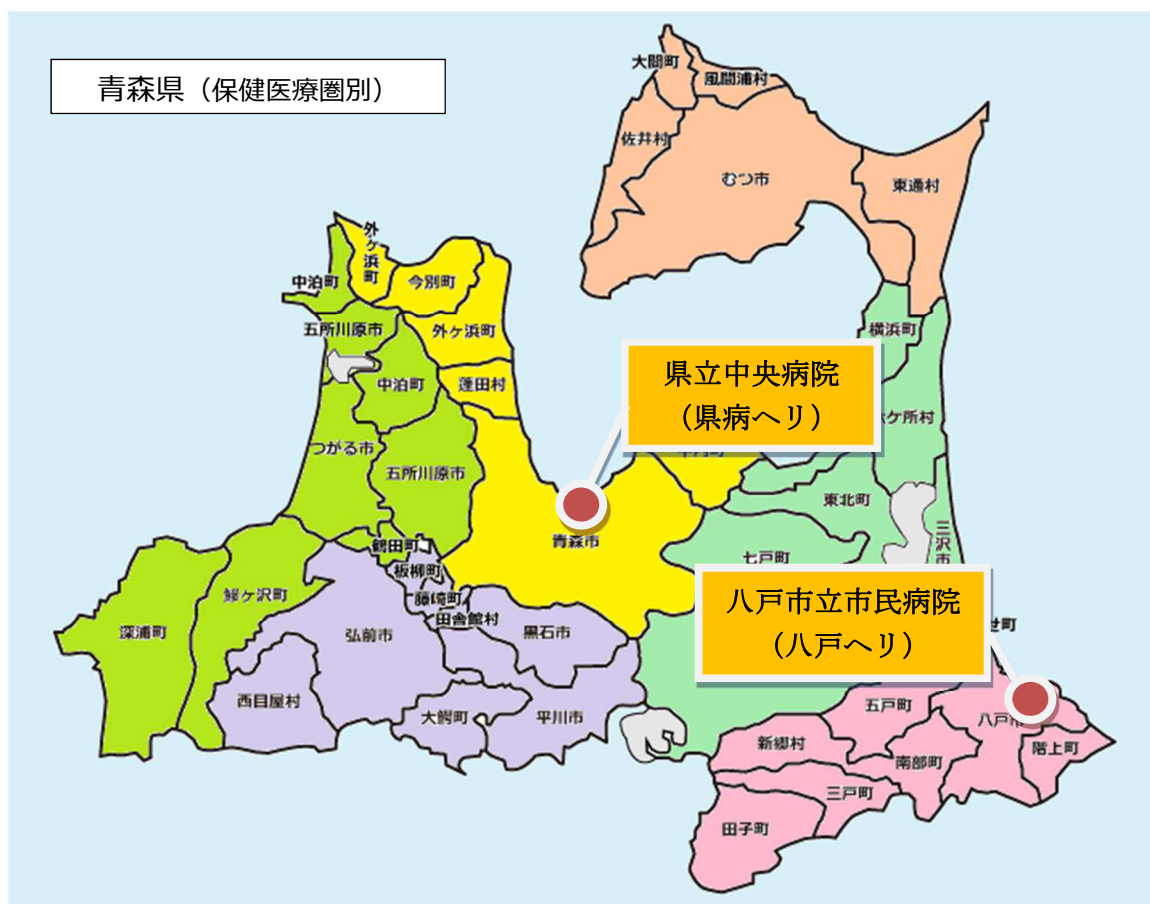
そこで、青森県医療審議会での合意に基づき、平成20年7月に改定した青森県医療計画にドクターヘリの整備促進を掲げ、救命率の向上を早期に図るため、平成21年3月25日から八戸市立市民病院を暫定的にドクターヘリ運航基地病院として運航を開始した。

その後、本県のドクターヘリ事業の安定的運営を図り、県全体で、より効果的なドクターヘリ運航を行うため、県立中央病院を中心とした八戸市立市民病院との共同・分担運航を行うこととし、平成23年4月1日から、県立中央病院と八戸市立市民病院によるドクターヘリの共同・分担運航を開始した。

この共同・分担運航の開始により、出動要請件数の増加、特に津軽地域からの要請の大幅な増加が明らかになったことに加え、東日本大震災におけるドクターヘリの活躍もあったことから、県として、県内医療関係者の議論を踏まえた上で、本県の救急医療体制の充実のため、できるだけ速やかな複数機導入を目指して取り組むこととした。

複数機の導入に向け、ドクターヘリ運航調整委員会、救急・災害医療対策協議会のほか、平成23年11月に、青森県医療審議会において、これまでの運航実績に係る検証・評価結果を基にした議論の結果、2機体制での運用が望ましいとの意見を頂いた。これにより平成24年10月1日に、2機体制での運用を開始した。

また、北東北3県広域連携については、平成25年4月から試行的に開始され、平成26年10月から3県知事の協定による本格運航が始まっているところである。



## ○ 実績報告書作成の目的

ドクターヘリの運航においては、効率的かつ効果的な運航を行うため、継続的に実績をまとめ、運用上の課題を明らかにしていくことが必要である。

このため、運航に係る多方面からの実績を整理し、本報告書を取りまとめたものである。

## ○ 運航実績報告対象期間と報告方法

運航実績報告対象期間は、平成 21 年 3 月 25 日から令和 5 年 3 月 31 日までの期間とし、令和 4 年度分について詳細を報告した。

### ① 運航状況全体に関する報告

主に運航開始から令和 4 年度までの出動要請件数などの推移を整理した。

### ② 令和 4 年度の運航実績の報告

ドクターヘリの運航実績について、市町村別や傷病者の症例、覚知から医療機関搬送までの時間などを整理した。

### ③ 令和 4 年度の施設間搬送に係る運航実績の報告

搬送元医療機関と依頼先医療機関の状況のほか、搬送患者の症例を整理した。

### ④ 2 機体制による効果の報告

1 機体制では対応出来なかった事案数を整理した。

## ○ 本報告書における用語等の定義

### ① 現場出動

消防本部からの要請を受け、患者搬送のために現場に出動したものをいう。

### ② 離陸前キャンセル

消防本部からの要請を受け、ドクターヘリ出動の準備をしたものの、救急隊がドクターヘリ要請事案ではないと判断し、離陸前に要請を中止したものをいう。

### ③ 不出動

天候不良、ドクターヘリ運用時間外等により出動しなかったものをいう。

### ④ 離陸後キャンセル

要請に応じて離陸したものの、運航中に天候悪化等の理由により、基地病院に引き返したものをいう。

### ⑤ 救急外来搬送

現場出動した救急隊が処置可能な最寄りの医療機関に搬送した後、搬送先における医療機関の医師の判断により、より高次の医療機関にドクターヘリで搬送したものをいう。

### ⑥ 施設間搬送

既に入院加療中の傷病者を転院させるため、ドクターヘリで搬送したものをいう。

## 運航状況全体に関する報告（P. 5～12）

### ○ 二次保健医療圏別延べ要請件数（P. 5）

- ・ 令和4年度の延べ要請件数は1,052件で、前年度より78件増加したものの、近年の延べ要請件数は1,000件前後で概ね横ばいで推移している。
- ・ 要請件数については、今後も1,000件前後で推移するものと考えられる。

### ○ 要請区分別出動件数（P. 6）

- ・ 令和4年度の出動件数は714件で、前年度より33件増加した。
- ・ 要請区分別の出動件数をみると、現場出動が最も多く、令和4年度は573件で出動件数全体の80.3%を占めている。
- ・ 令和4年度の救急外来搬送は72件で前年度より22件増加し、施設間搬送は69件で前年度より10件増加した。

### ○ 二次保健医療圏別出動件数（P. 7）

- ・ 二次保健医療圏ごとの出動件数をみると、八戸地域及び上十三地域の合計が全体の5割程度を占めている。
- ・ 前年度との比較では、特に上十三地域の出動件数が増加し、青森地域の出動件数が減少している。

### ○ 理由別不出動件数（P. 8～10）

- ・ 令和4年度の不出動件数は271件で、前年度より37件増加した。要請件数に占める割合は27.5%で、前年度から1.9%上昇した。
- ・ 不出動の理由として、最も多い理由は天候不良であり、令和4年度は168件で、前年度より26件増加し、不出動件数全体の62.0%を占めている。
- ・ 重複要請による不出動件数は39件であり、運航開始以降、最多であった。

### ○ 北東北3県ドクターヘリの広域連携実施状況（P. 11～12）

- ・ 令和4年度の広域連携に基づく北東北3県の出動件数の合計は26件で、前年度より11件減少した。
- ・ 令和4年度における青森県の出動件数は19件で、その内訳は、岩手県への出動が16件、秋田県への出動が3件であった。
- ・ 令和4年度における岩手県の出動件数は7件で、その内訳は、全て秋田県への出動であった。
- ・ 令和4年度において、秋田県の出動はなかった。
- ・ 本県から他県への出動要請件数については、2機の運用により比較的必要性が低いことから、令和4年度までで計4件となっている。（平成25、26、28及び令和3年度に各1件ずつ）
- ・ 3県の要請要件別にみると、天候不良と医師の判断によるものがそれぞれ9件ずつで、他事案対応中によるものが8件となっている。

- 青森県ドクターヘリが他県出勤中で重複要請により不出動となった事案（第二出勤要請基地病院において重複要請で、かつ重複した出勤先が県外であったもの）はなかった。

# 1 運航状況全体に関する報告

## (1) 二次保健医療圏別延べ要請件数

二次保健医療圏別の延べ要請件数については、図表1-1-1及び1-1-2のとおりである。  
令和4年度の延べ要請件数は1,052件で、前年度より78件増加した。  
近年、延べ要請件数は概ね横ばいで推移している。

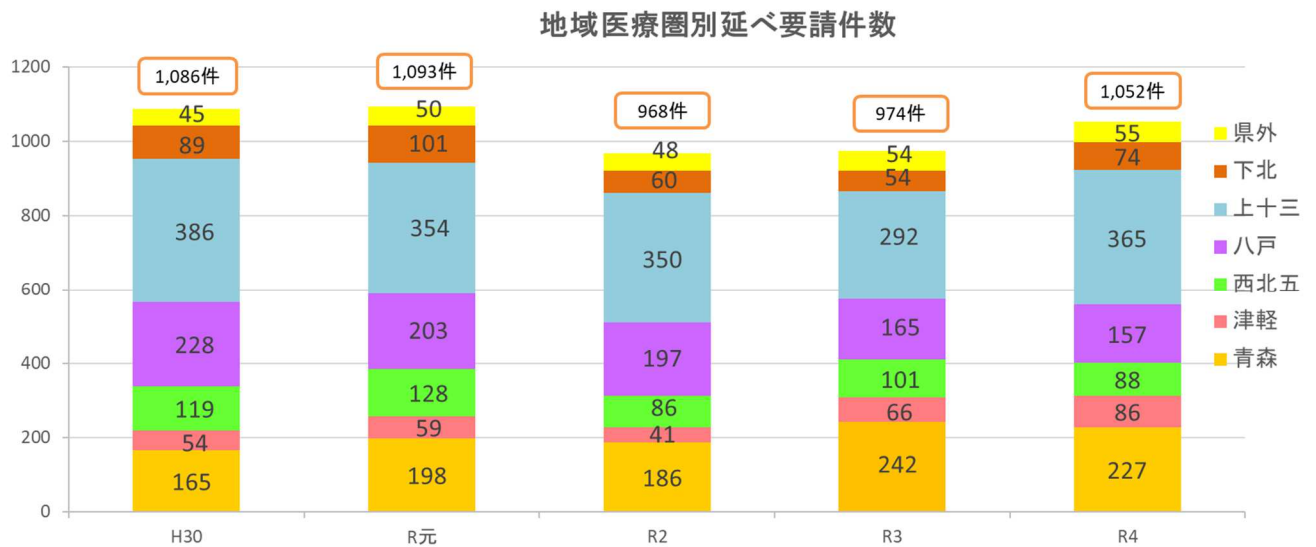
【図表1-1-1】二次保健医療圏別延べ要請件数

(単位：件)

年度	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	県外	合計
H30	165 15.2%	54 5.0%	119 11.0%	228 21.0%	386 35.5%	89 8.2%	45 4.1%	1,086
県病へリ	153 29.8%	50 9.7%	114 22.2%	8 1.6%	106 20.7%	77 15.0%	5 1.0%	513
八戸へリ	12 2.3%	4 0.7%	5 0.9%	220 38.4%	280 48.9%	12 2.1%	40 7.0%	573
R元	198 20.5%	59 6.1%	128 13.2%	203 21.0%	354 36.6%	101 10.4%	50 5.2%	1,093
県病へリ	189 39.9%	51 10.8%	119 25.1%	7 1.5%	95 20.0%	88 18.6%	4 0.8%	553
八戸へリ	9 1.8%	8 1.6%	9 1.8%	196 39.7%	259 52.4%	13 2.6%	46 9.3%	540
R2	186 19.2%	41 4.2%	86 8.9%	197 20.4%	350 36.2%	60 6.2%	48 5.0%	968
県病へリ	183 38.6%	37 7.8%	81 17.1%	5 1.1%	98 20.7%	55 11.6%	15 3.2%	474
八戸へリ	3 0.6%	4 0.8%	5 1.0%	192 38.9%	252 51.0%	5 1.0%	33 6.7%	494
R3	242 25.0%	66 6.8%	101 10.4%	165 17.0%	292 30.2%	54 5.6%	54 5.6%	974
県病へリ	237 50.0%	61 12.9%	97 20.5%	6 1.3%	69 14.6%	48 10.1%	13 2.7%	531
八戸へリ	5 1.0%	5 1.0%	4 0.8%	159 32.2%	223 45.1%	6 1.2%	41 8.3%	443
R4	227 23.5%	89 9.2%	85 8.8%	159 16.4%	365 37.7%	74 7.6%	53 5.5%	1,052
県病へリ	220 40.2%	78 14.3%	79 14.4%	1 0.2%	94 17.2%	64 11.7%	11 2.0%	547
八戸へリ	7 1.4%	11 2.2%	6 1.2%	158 31.3%	271 53.7%	10 2.0%	42 8.3%	505

【図表1-1-2】二次保健医療圏別の延べ要請件数

(単位：件)



## (2) 要請区分別出動件数

要請区分別出動件数は図表1-2-1及び1-2-2のとおりである。

令和4年度の出動件数は714件で、前年度より33件増加した。

要請区分別の出動件数をみると、現場出動が最も多く、令和4年度は573件で出動件数全体の80.3%を占めている。

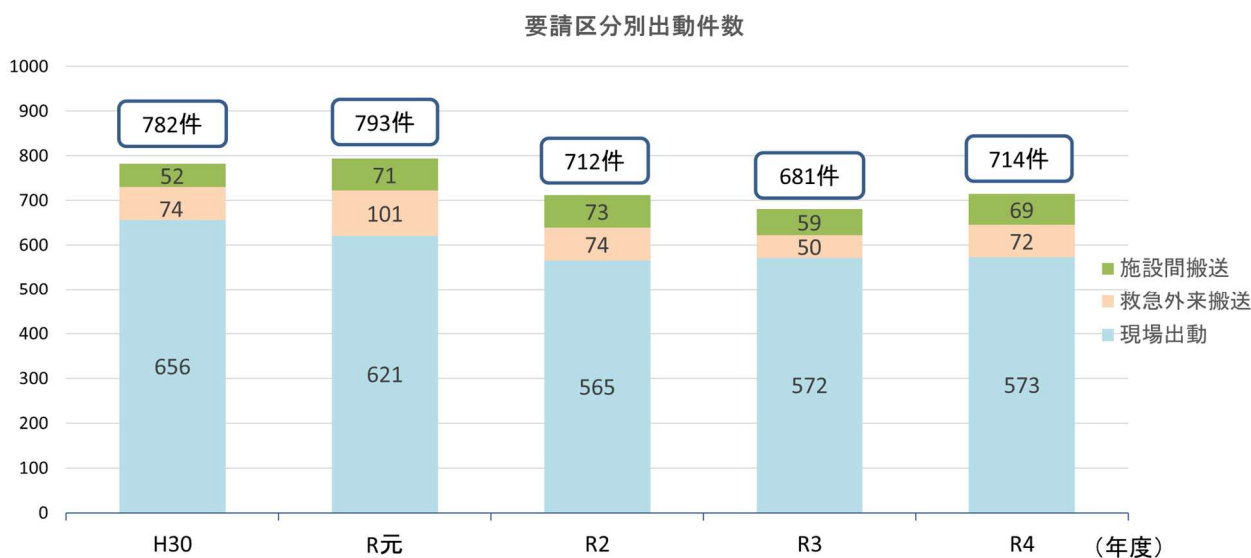
【図表1-2-1】要請区分別出動件数

(単位：件)

年度		要請件数 (出動件数+ 不出動件数)	出動件数	現場出動		救急外来 搬送		施設間 搬送		うち、離陸後 キャンセル
				うち、離陸後 キャンセル	(出動件数に 占める割合)	うち、離陸後 キャンセル	出動件数に 占める割合)	うち、離陸後 キャンセル	(出動件数に 占める割合)	
H30	県全体	999	782	84	656 (83.9%)	83	74 (9.5%)	0	52 (6.6%)	1
	県病へり	480	341	38	268 (78.6%)	38	41 (12.0%)	0	32 (9.4%)	0
	八戸へり	519	441	46	388 (88.0%)	45	33 (7.5%)	0	20 (4.5%)	1
R元	県全体	1,014	793	65	621 (78.3%)	63	101 (12.7%)	0	71 (9.0%)	2
	県病へり	516	366	33	280 (76.5%)	32	46 (12.6%)	0	40 (10.9%)	1
	八戸へり	498	427	32	341 (79.9%)	31	55 (12.9%)	0	31 (7.3%)	1
R2	県全体	897	712	41	565 (79.4%)	39	74 (10.4%)	1	73 (10.3%)	1
	県病へり	454	323	28	233 (72.1%)	26	41 (12.7%)	1	49 (15.2%)	1
	八戸へり	443	389	13	332 (85.3%)	13	33 (8.5%)	0	24 (6.2%)	0
R3	県全体	915	681	41	572 (84.0%)	39	50 (7.3%)	2	59 (8.7%)	0
	県病へり	509	348	28	283 (81.3%)	26	35 (10.1%)	2	30 (8.6%)	0
	八戸へり	406	333	13	289 (86.8%)	13	15 (4.5%)	0	29 (8.7%)	0
R4	県全体	985	714	27	573 (80.3%)	26	72 (10.1%)	1	69 (9.7%)	0
	県病へり	520	347	20	263 (75.8%)	19	48 (13.8%)	1	36 (10.4%)	0
	八戸へり	465	367	7	310 (84.5%)	7	24 (6.5%)	0	33 (9.0%)	0

【図表1-2-2】要請区分別出動件数

(単位：件)





### (3) 二次保健医療圏別出動件数

二次保健医療圏別出動件数は図表1-3-1及び1-3-2のとおりである。

二次保健医療圏ごとの出動件数をみると、八戸地域及び上十三地域の合計が全体の5割程度を占めているが、2地域の出動件数をみると、八戸地域は減少、上十三地域は増加傾向にある。

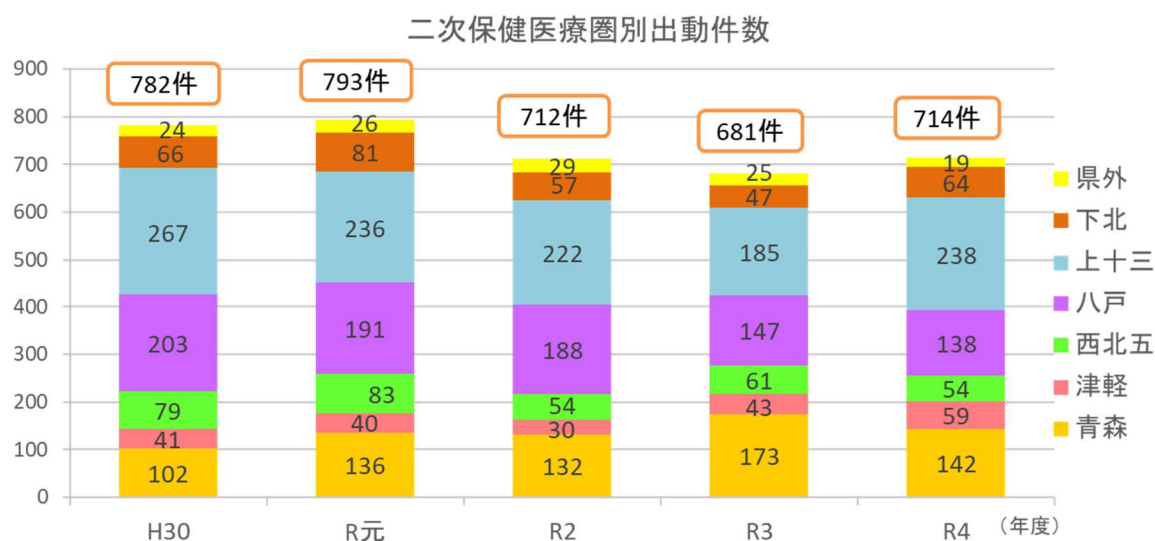
【図表1-3-1】二次保健医療圏別出動件数

(単位：件)

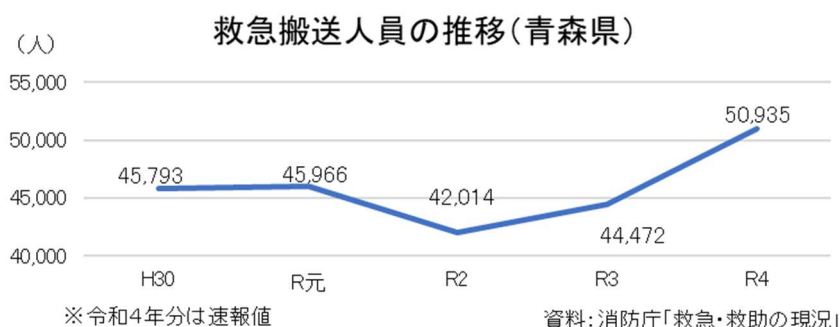
年度		青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	県外	合計
H30	(合計)	102	41	79	203	267	66	24	782
	県病へり	94	39	77	7	62	61	1	341
	八戸へり	8	2	2	196	205	5	23	441
R元	(合計)	136	40	83	191	236	81	26	793
	県病へり	129	37	79	6	39	76	0	366
	八戸へり	7	3	4	185	197	5	26	427
R2	(合計)	132	30	54	188	222	57	29	712
	県病へり	130	29	53	12	42	52	5	323
	八戸へり	2	1	1	176	180	5	24	389
R3	(合計)	173	43	61	147	185	47	25	681
	県病へり	170	42	61	5	26	44	0	348
	八戸へり	3	1	0	142	159	3	25	333
R4	(合計)	142	59	54	138	238	64	19	714
	県病へり	139	54	54	1	41	55	3	347
	八戸へり	3	5	0	137	197	9	16	367

【図表1-3-2】二次保健医療圏別出動件数

(単位：件)



### 【参考】 救急搬送人員の推移 (青森県)



#### (4) 理由別不出動件数

理由別の不出動件数については図表1-4-1から1-4-4のとおりである。

令和4年度の不出動件数は271件で、前年度より37件増加した。要請件数に占める割合は27.5%で、前年度から1.9%上昇した。

不出動の理由として、最も多い理由は天候不良であり、令和4年度は168件で、前年度より26件増加し、不出動件数全体の62.0%を占めている。

【図表1-4-1】理由別不出動件数

(単位：件)

年度		要請件数 (出動件数+ 不出動件数)	不出動	〔要請件数に 占める割合〕	離陸前 キャンセル	天候不良	時間外	重複要請	その他
	県病ヘリ	480	139	(29.0%)	14	96	14	15	0
	八戸ヘリ	519	78	(15.0%)	13	50	6	8	1
R元	県全体	1,014	221	(21.8%)	41	129	28	21	2
	県病ヘリ	516	150	(29.1%)	19	94	21	14	2
	八戸ヘリ	498	71	(14.3%)	22	35	7	7	0
R2	県全体	897	185	(20.6%)	25	122	21	13	4
	県病ヘリ	454	131	(28.9%)	14	92	12	10	3
	八戸ヘリ	443	54	(12.2%)	11	30	9	3	1
R3	県全体	915	234	(25.6%)	42	142	18	28	4
	県病ヘリ	509	161	(31.6%)	23	105	9	22	2
	八戸ヘリ	406	73	(18.0%)	19	37	9	6	2
R4	県全体	985	271	(27.5%)	36	168	27	39	1
	県病ヘリ	520	173	(33.3%)	11	121	15	26	0
	八戸ヘリ	465	98	(21.1%)	25	47	12	13	1

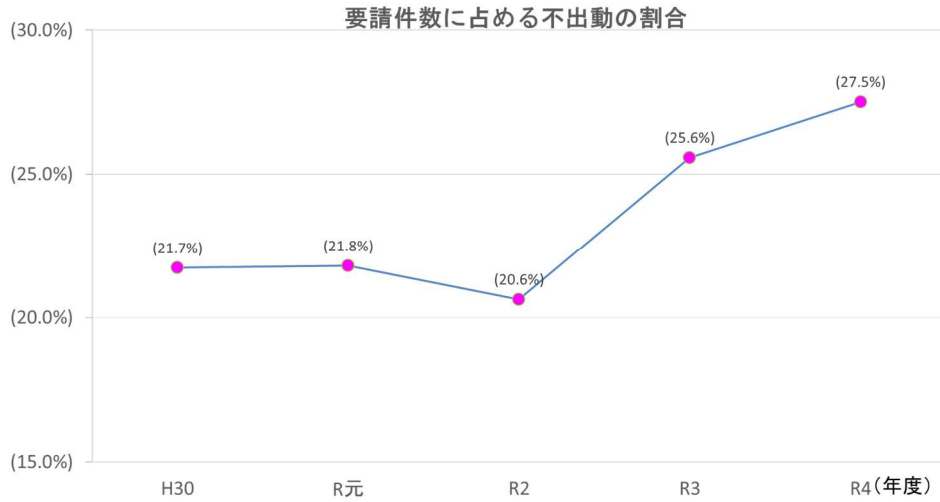
#### 不出動の「重複要請」の内訳

(単位：件)

年度		不出動の「重複要請」の内訳		計
		他方へ要請したが、他方も出動中。(2機とも出動中)	他方へ要請していない、または、天候不良で出動できないため他方を要請したが、出動中だったなど。	
H30	県全体	5	18	23
	県病ヘリ	4	11	15
	八戸ヘリ	1	7	8
R元	県全体	0	21	21
	県病ヘリ	0	14	14
	八戸ヘリ	0	7	7
R2	県全体	1	12	13
	県病ヘリ	1	9	10
	八戸ヘリ	0	3	3
R3	県全体	2	26	28
	県病ヘリ	1	21	22
	八戸ヘリ	1	5	6
R4	県全体	4	35	39
	県病ヘリ	1	25	26
	八戸ヘリ	3	10	13

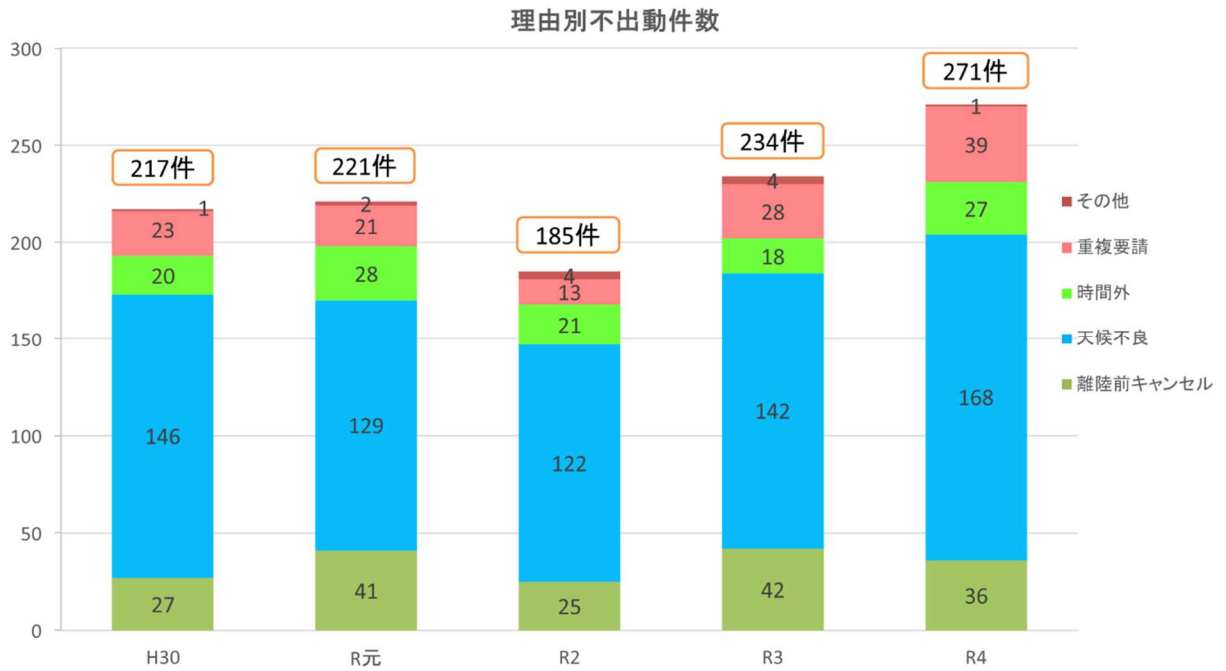
他事案対応中に要請があった場合でも、救急隊で対応可能な事案などは、他方のドクターヘリを要請していない。

【図表 1 - 4 - 2】 要請件数に占める不出動の割合

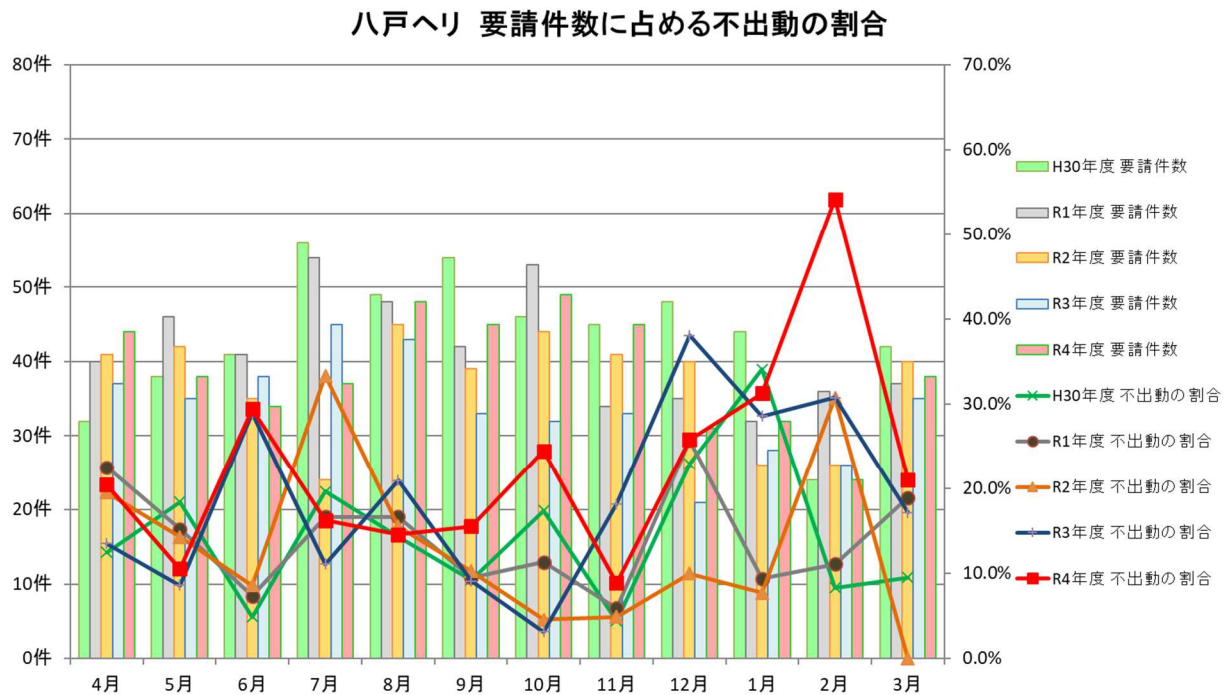
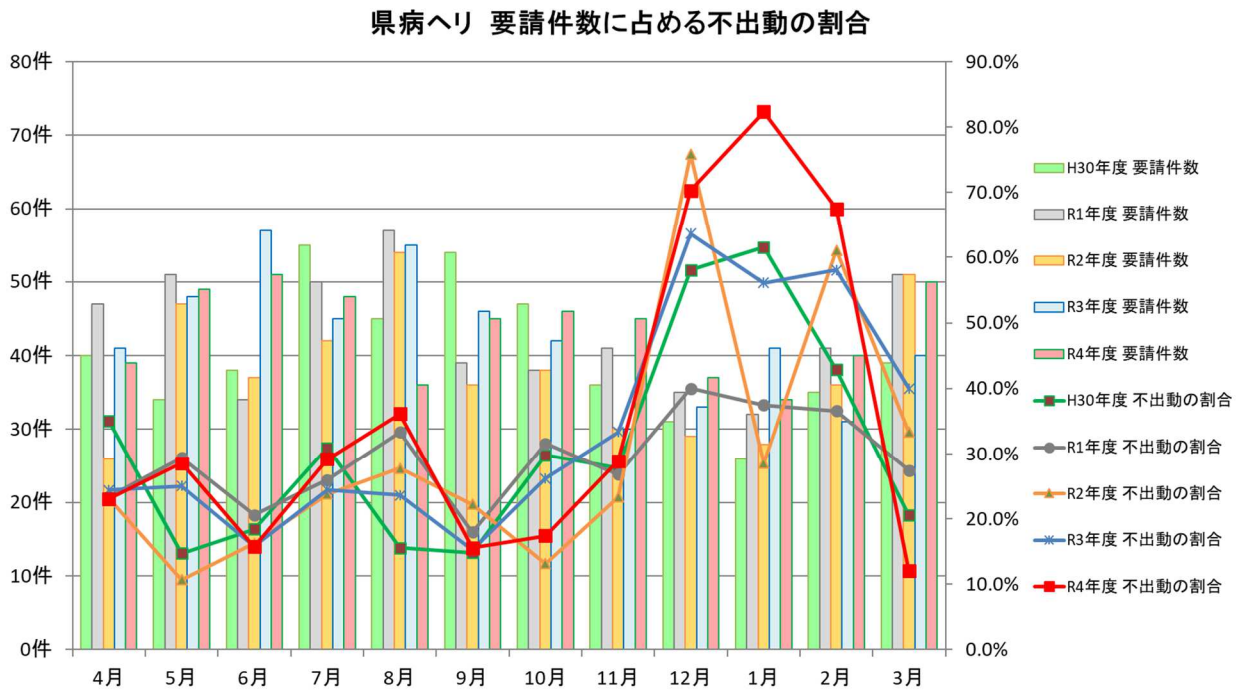


【図表 1 - 4 - 3】 理由別不出動件数

(単位：件)



【図表 1 - 4 - 4】 出勤要請に占める不出動の割合



(5) 北東北3県ドクターヘリの広域連携実施状況

北東北3県ドクターヘリの広域連携実施状況は図表1-5-1のとおりである。

令和4年度の青森県の出動件数は19件で、うち岩手県への出動が16件、秋田県への出動は3件だった。

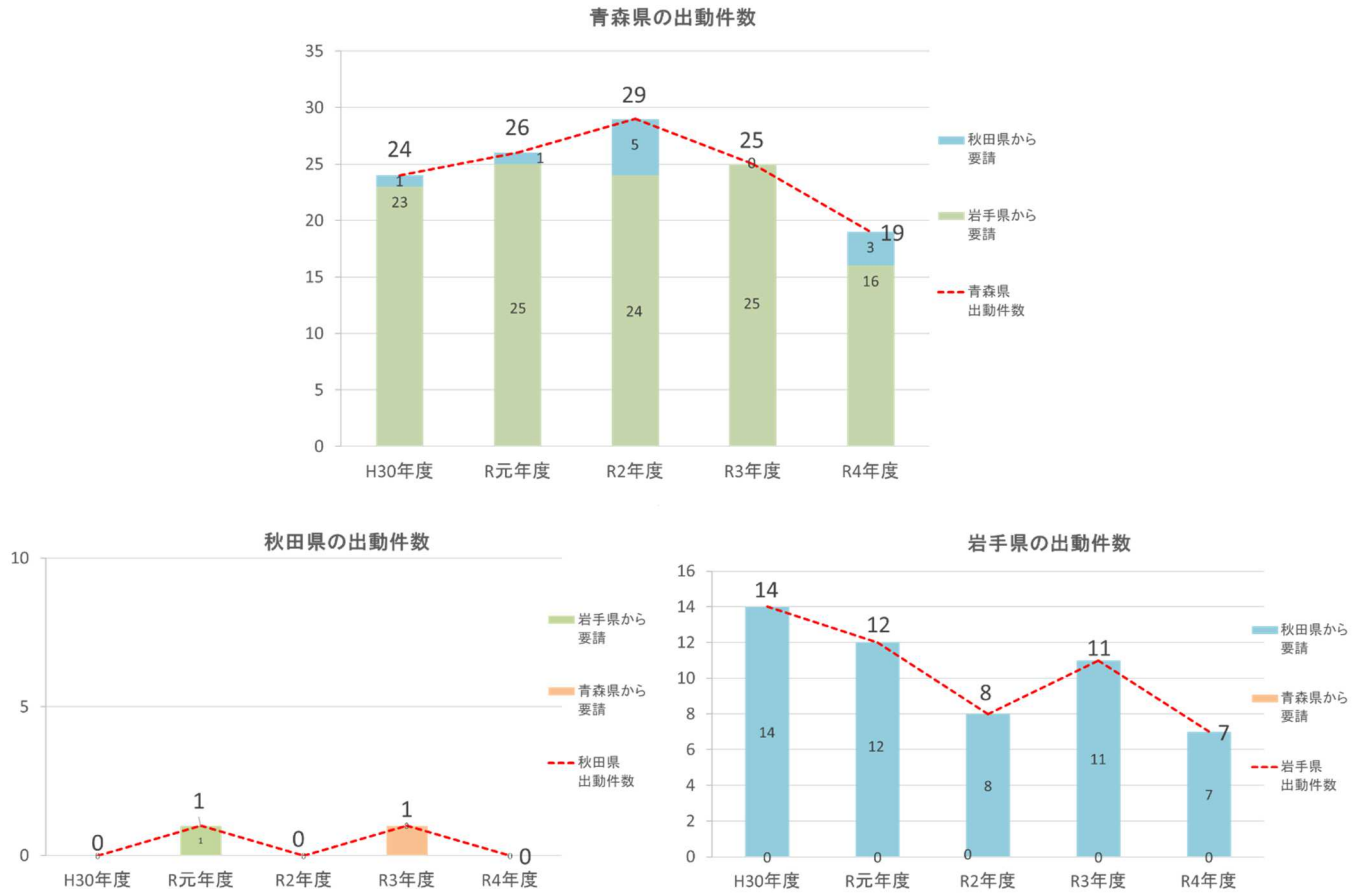
【図表1-5-1】 北東北3県ドクターヘリの広域連携実施状況

(単位：件)

年度			要請県			合計	(左の内訳)要請要件別出動件数				
			青森県	岩手県	秋田県		他事案 対応中	天候不良	医師の 判断	その他	
H30	出動県	(計)		23	1	24	11	6	4	3	
		青森県	県病ヘリ			1	1	1			
			八戸ヘリ		23		23	10	6	4	3
		岩手県				14	14	4		10	
		秋田県									
R1	出動県	(計)		25	1	26	10	8	2	6	
		青森県	県病ヘリ								
			八戸ヘリ		25	1	26	10	8	2	6
		岩手県				12	12	1	1	10	
		秋田県			1		1	1			
R2	出動県	(計)		24	5	29	11	12	3	3	
		青森県	県病ヘリ			5	5	3	1		1
			八戸ヘリ		24		24	8	11	3	2
		岩手県				8	8	1	4	3	
		秋田県									
R3	出動県	(計)		25		25	7	7	7	4	
		青森県	県病ヘリ								
			八戸ヘリ		25		25	7	7	7	4
		岩手県				11	11	1		10	
		秋田県		1			1				1
R4	出動県	(計)		16	3	19	6	6	6	1	
		青森県	県病ヘリ			3	3	1	1	1	
			八戸ヘリ		16		16	5	5	5	1
		岩手県				7	7	2		5	
		秋田県									
合計	出動県	(計)		199	22	221	90	73	30	28	
		青森県	県病ヘリ			20	20	10	6	2	2
			八戸ヘリ		199	2	201	80	67	28	26
		岩手県		3		126	129	24	10	93	2
		秋田県		1	3		4	3			1

【図表 1-5-2】 北東北 3 県ドクターヘリの広域連携出動件数

(単位：件)



【図表 1-5-3】 北東北 3 県ドクターヘリの広域連携出動件数

(単位：件)





【参考】令和4年度及び令和3年度消防本部別延べ要請件数

令和4年度消防本部別延べ要請件数

(単位：件)

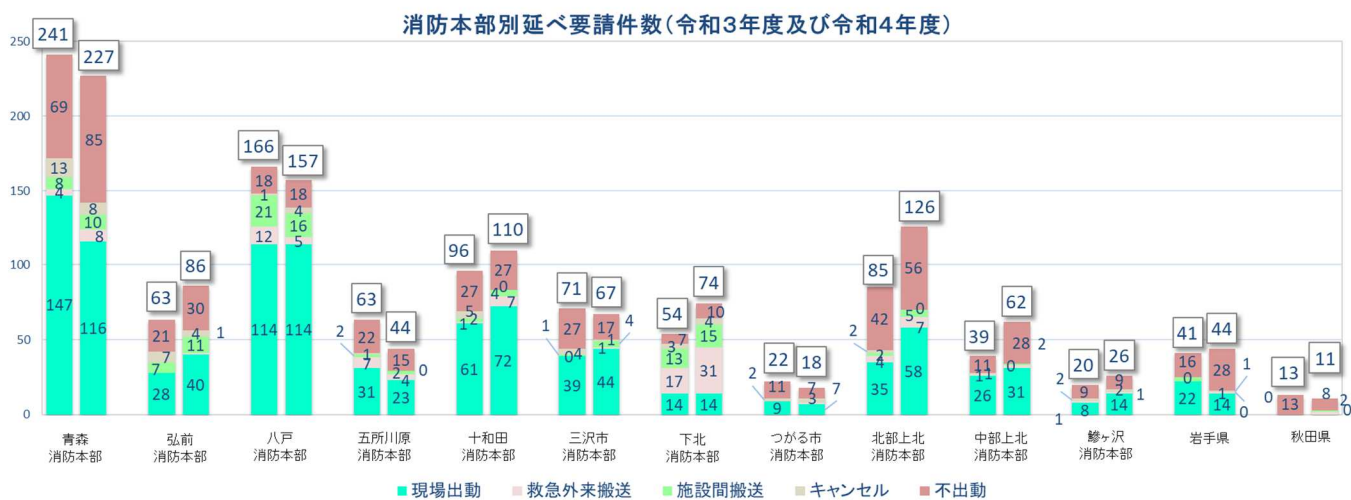
	青森 消防本部	弘前 消防本部	八戸 消防本部	五所川原 消防本部	十和田 消防本部	三沢市 消防本部	下北 消防本部	つがる市 消防本部	北部上北 消防本部	中部上北 消防本部	鱒ヶ沢 消防本部	岩手県	秋田県	合計
現場出動	116	40	114	23	72	44	14	7	58	31	14	14	0	547
救急外来搬送	8	1	5	4	7	1	31	1	7	2	1	1	2	71
施設間搬送	10	11	16	2	4	4	15	0	5	1	0	0	1	69
キャンセル	8	4	4	0	0	1	4	3	0	0	2	1	0	27
不出動	85	30	18	15	27	17	10	7	56	28	9	28	8	338
合計	227	86	157	44	110	67	74	18	126	62	26	44	11	1,052

令和3年度消防本部別延べ要請件数

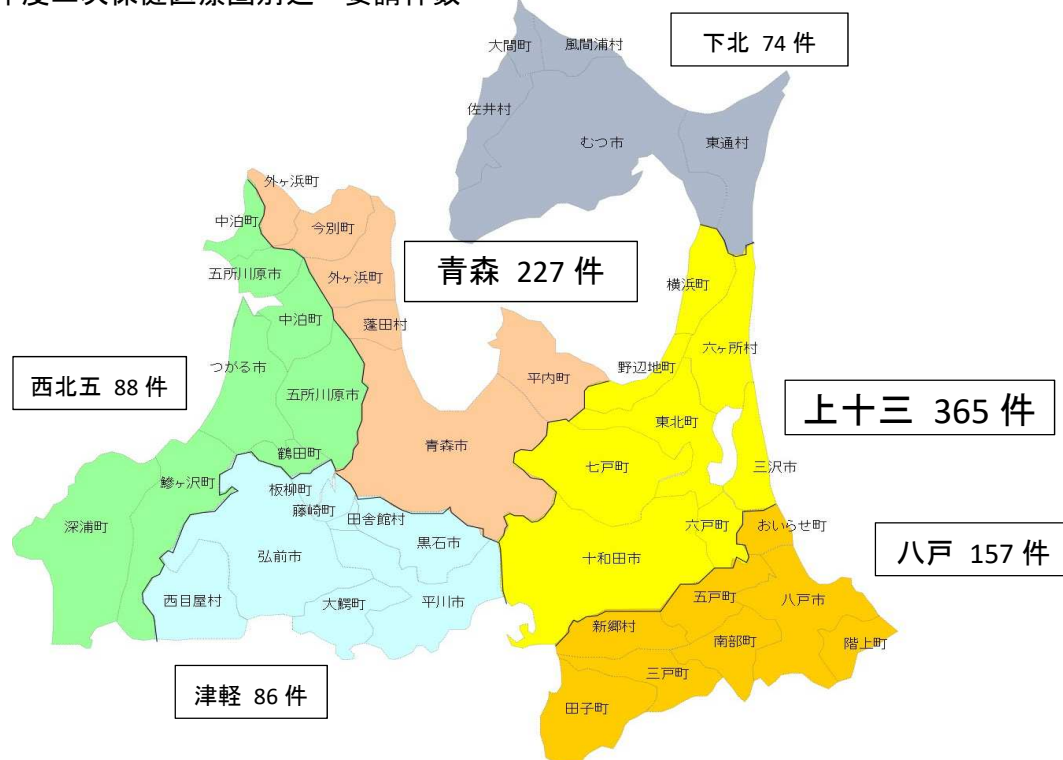
(単位：件)

	青森 消防本部	弘前 消防本部	八戸 消防本部	五所川原 消防本部	十和田 消防本部	三沢市 消防本部	下北 消防本部	つがる市 消防本部	北部上北 消防本部	中部上北 消防本部	鱒ヶ沢 消防本部	岩手県	秋田県	合計
現場出動	147	28	114	31	61	39	14	9	35	26	8	22	0	534
救急外来搬送	4	0	12	7	1	0	17	0	4	1	1	0	0	47
施設間搬送	8	7	21	2	2	1	13	0	2	0	0	3	0	59
キャンセル	13	7	1	1	5	4	3	2	2	1	2	0	0	41
不出動	69	21	18	22	27	27	7	11	42	11	9	16	13	293
合計	241	63	166	63	96	71	54	22	85	39	20	41	13	974

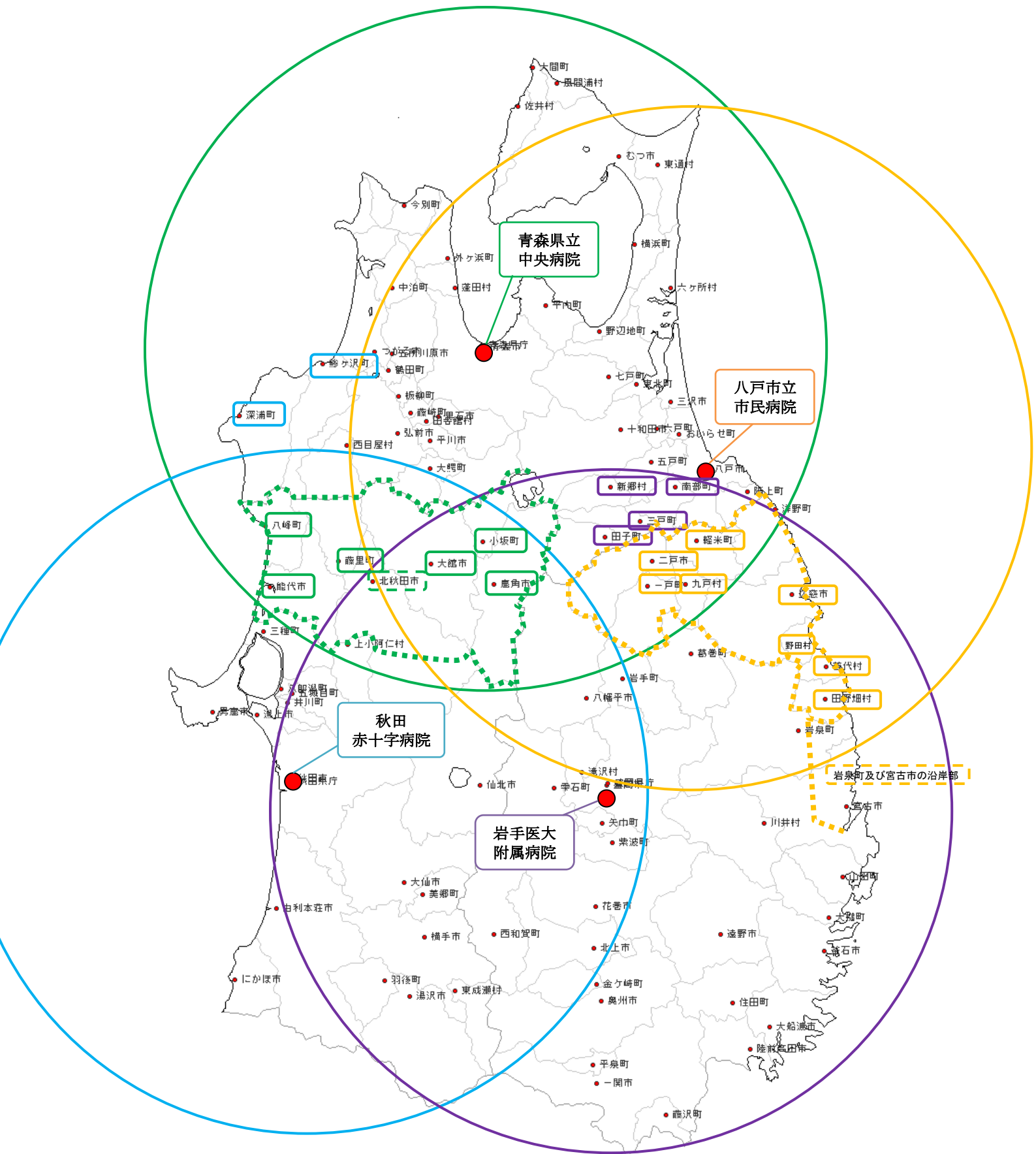
(単位：件)



【参考】令和4年度二次保健医療圏別延べ要請件数



北東北3県ドクターヘリ基地病院からの半径100km圏





## 令和4年度の運航実績の報告 (施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く) (P. 17~29)

### ○ 市町村別出動件数 (P. 17)

- ・ 地域別にみると、人口千人あたりの出動件数は、青森地域、上十三地域及び下北地域の一部市町村で高くなっている。  
その理由として、地域の医療事情により、受け入れ可能な二次・三次救急医療を提供する医療機関までの搬送距離が長いこと、ドクターヘリでの搬送が効果的な事案が多いことが考えられる。

### ○ ドクターヘリの出動に係る傷病者の搬送方法 (P. 18~19)

- ・ 令和4年度の県病ヘリの傷病者の出動事案について、傷病者をドクターヘリで搬送した件数は209件で、前年度より10件減少し、搬送方法全体の70.8%を占めている。  
傷病者を救急車で搬送した件数は40件で、前年度より9件増加、ドクターカー方式(医師が救急車に同乗して医療機関へ搬送する方法)により搬送した件数は44件で、前年度より2件減少している。
- ・ 令和4年度の八戸ヘリの傷病者の出動事案について、傷病者をドクターヘリで搬送した件数は237件で、前年度より26件増加し、搬送方法全体の77.2%を占めている。  
傷病者を救急車で搬送した件数は32件で、前年度より4件増加し、ドクターカー方式で搬送した件数は38件で、前年度より6件減少した。

### ○ ドクターヘリ出動に係る傷病者の搬送先医療機関 (P. 20~23)

- ・ 県病ヘリ及び八戸ヘリともに、搬送先については基地病院への搬送が最も多い。これは基地病院が救命救急センターであり、受入体制が整っていることや、ドクターヘリとしても次の出動に備えて早急に整備・給油する必要があることから、基地病院へ搬送することが効率の面からも良いためと考えられる。

### ○ ドクターヘリ出動に係る傷病者の疾患分類 (P. 24~27)

- ・ ドクターヘリの疾患別件数では、県病ヘリ及び八戸ヘリともに、脳卒中をはじめとする中枢神経系疾患の割合が高い。その要因として、本県はいわゆる生活習慣病の割合が高いこと、脳卒中に関する症状や早期治療介入が必要なことが救急隊に浸透したこと、ドクターヘリを要請するためのキーワードとして症状が比較的わかりやすいことが挙げられる。

○ 覚知から医療機関搬送までの時間（P. 28～29）

- ・ 覚知から要請までの平均時間は、県病ヘリが 11 分、八戸ヘリが 16 分程度である。
- ・ 要請から出動までの平均時間は、県病ヘリが 8 分、八戸ヘリが 7 分程度である。
- ・ 覚知から現場到着までの平均時間は、県病ヘリが 32 分、八戸ヘリが 34 分程度である。
- ・ 覚知から医療機関搬送までの平均時間は、県病ヘリが 60 分、八戸ヘリが 66 分程度である。
- ・ 出動から現場までの到着時間や現場から医療機関までの平均搬送時間は、事案発生場所から医療機関までの距離のほか天候、運航経路など外部的な要因に左右されることが多い。

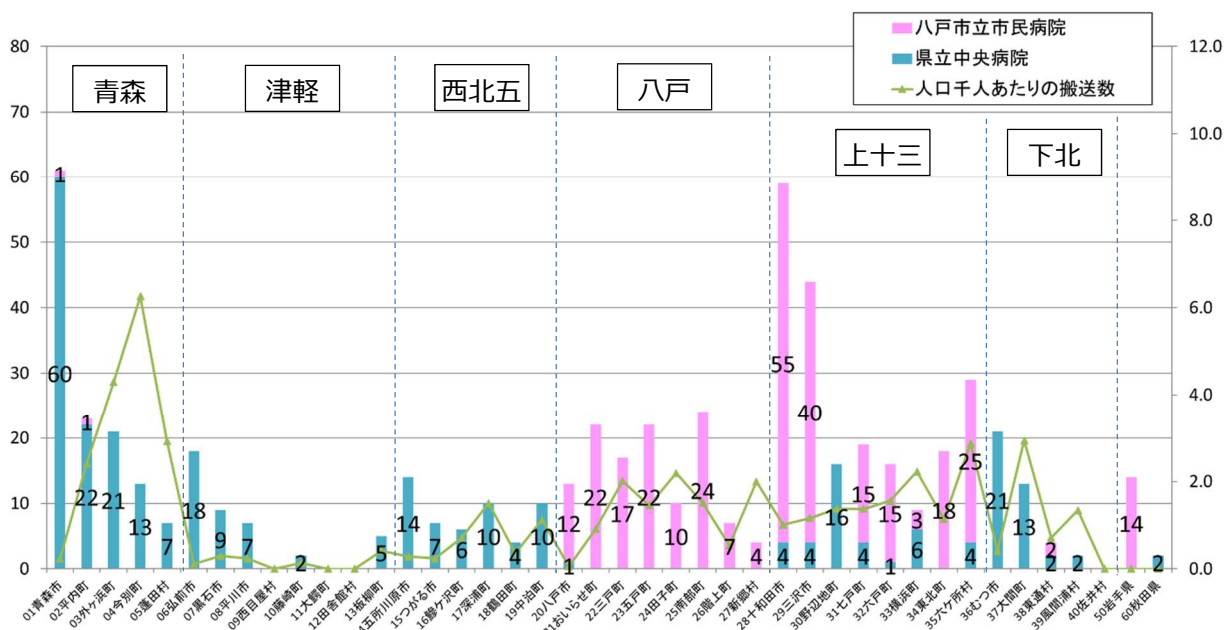
## 2 令和4年度の運航実績の報告（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）

### （1）市町村別出動件数

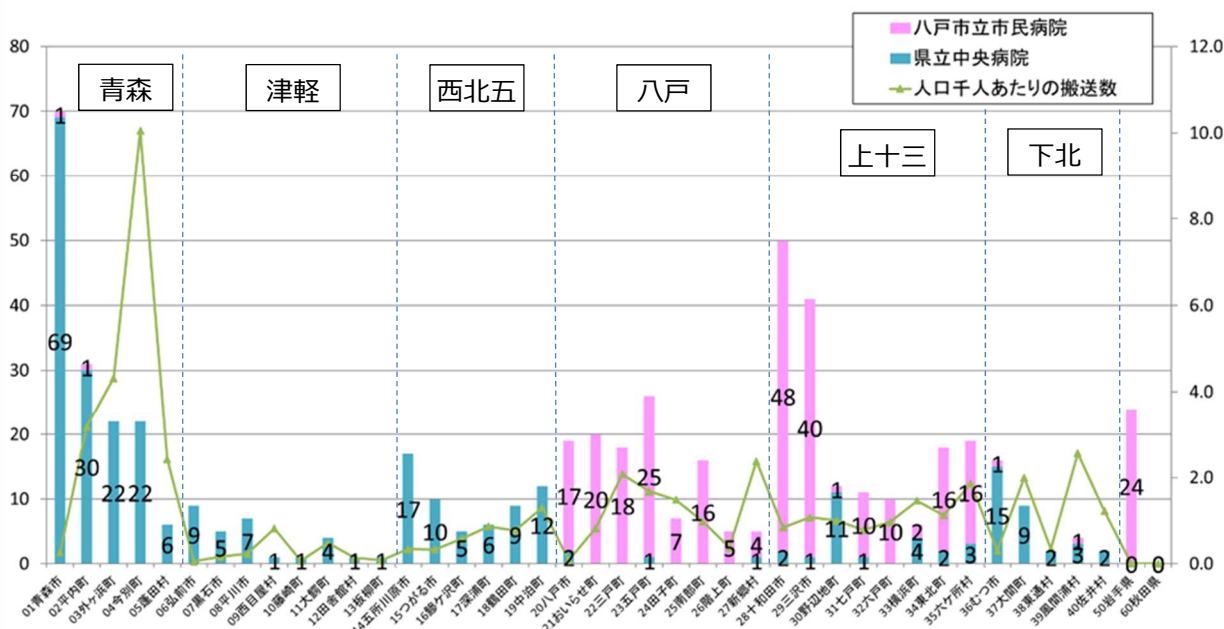
市町村別の出動件数（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）は、図表2-1-1のとおりである。

【図表2-1-1】 市町村別出動件数（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

R4年度市町村別出動件数（施設間搬送及び離陸前後キャンセル除く）



R3年度市町村別出動件数（施設間搬送及び離陸前後キャンセル除く）



※分析データは、要請内容の詳細を把握している基地病院のデータを用いており、総数及び区分などについては、「1 運航状況全体に関する検証」と一致しない場合がある。

(2) ドクターヘリ出動事案に係る実際の傷病者の搬送方法（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）

a 県病ヘリ

県病ヘリ出動時における実際の傷病者の搬送方法（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）については、図表2-2-1及び2-2-2のとおりである。

令和4年度における救急車で搬送は40件で、前年度より9件増加し、ドクターカー方式（※）での搬送は44件で、前年度より2件減少している。

※ドクターカー方式：医師が救急車に同乗して傷病者を医療機関へ搬送する方法。

なお、救急車は、主に救急隊（看護師が同乗する場合も含む）が傷病者を医療機関へ搬送する。

【図表2-2-1】県病ヘリ出動事案に係る実際の傷病者の搬送方法（表）

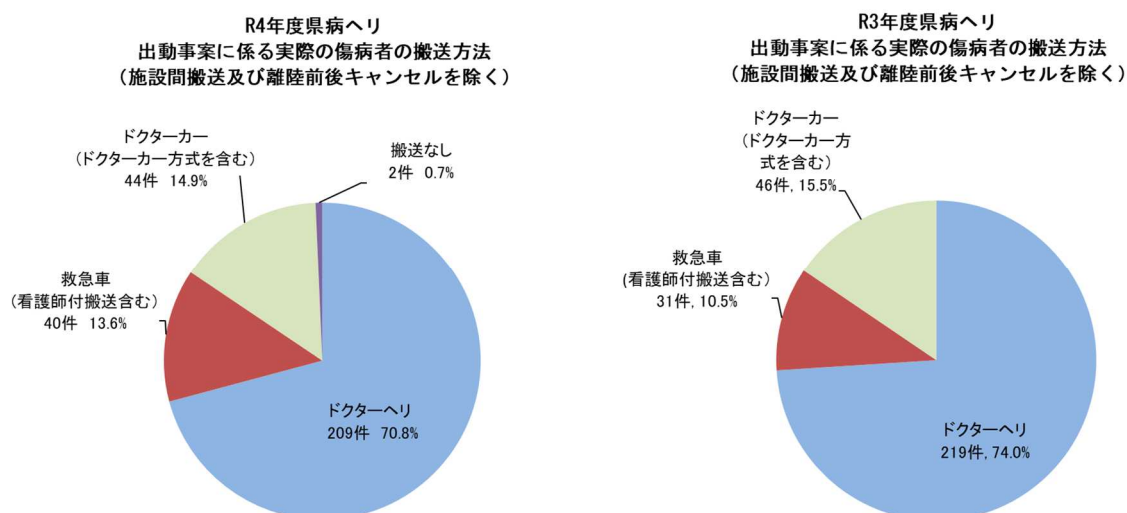
令和4年度県病ヘリ出動事案に係る実際の傷病者の搬送方法（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	秋田	合計
ドクターヘリ	87	22	36	1	33	28	2	209件
救急車 （看護師付搬送含む）	13	11	9	0	3	4	0	40件
ドクターカー （ドクターカー方式を含む）	23	8	6	0	3	4	0	44件
搬送なし	0	0	0	0	0	2	0	2件
合計	123件	41件	51件	1件	39件	38件	2件	295件

令和3年度県病ヘリ出動事案に係る実際の傷病者の搬送方法（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	秋田	合計
ドクターヘリ	109	17	45	4	19	25	0	219件
救急車 （看護師付搬送含む）	13	4	8	0	2	4	0	31件
ドクターカー （ドクターカー方式を含む）	27	8	6	0	3	2	0	46件
合計	149件	29件	59件	4件	24件	31件	0件	296件

【図表2-2-2】県病ヘリ出動事案に係る実際の傷病者の搬送方法（グラフ）



b 八戸ヘリ

八戸ヘリ出動時における実際の傷病者の搬送方法（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）については、図表2-2-3及び2-2-4のとおりである。

令和4年度における救急車で搬送は32件で、前年度より4件増加し、ドクターカー方式での搬送は38件で、前年度より6件減少している。

なお、八戸市立市民病院は、ドクターヘリの出動と同時にドクターカーを出動させる場合もある。

【図表2-2-3】 八戸ヘリ出動事案に係る実際の傷病者の搬送方法（表）

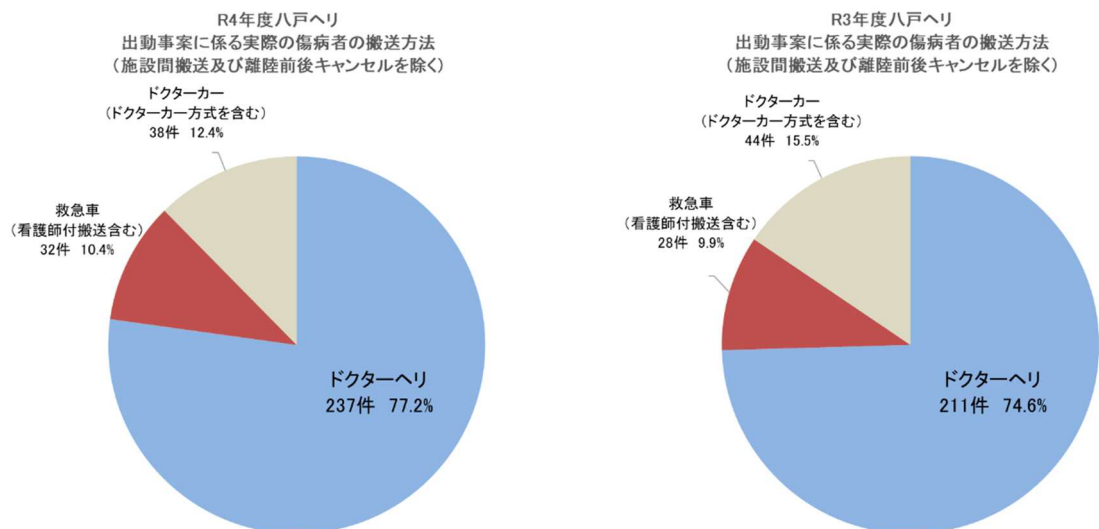
令和4年度八戸ヘリ出動事案に係る実際の傷病者の搬送方法（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	岩手	秋田	合計
ドクターヘリ	2	0	0	82	141	2	10	0	237件
救急車 （看護師付搬送含む）	0	0	0	15	13	0	4	0	32件
ドクターカー （ドクターカー方式を含む）	0	0	0	21	17	0	0	0	38件
合計	2件	0件	0件	118件	171件	2件	14件	0件	307件

令和3年度八戸ヘリ出動事案に係る実際の傷病者の搬送方法（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	岩手	秋田	合計
ドクターヘリ	1	0	0	92	100	2	16	0	211件
救急車 （看護師付搬送含む）	0	0	0	3	19	0	6	0	28件
ドクターカー （ドクターカー方式を含む）	1	0	0	17	24	0	2	0	44件
合計	2件	0件	0件	112件	143件	2件	24件	0件	283件

【図表2-2-4】 八戸ヘリ出動事案に係る実際の傷病者の搬送方法（グラフ）



(3) ドクターヘリ出動に係る傷病者の搬送先医療機関(施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く)

a 県病ヘリ

県病ヘリの出動に係る傷病者の搬送先医療機関は、図表2-3-1から2-3-2のとおりである。

県病ヘリの出動に係る傷病者の搬送先医療機関は基地病院である青森県立中央病院が多く、次いで弘前大学医学部附属病院、つがる総合病院が多くなっている。

【図表2-3-1】 県病ヘリ出動に係る傷病者の搬送先医療機関(表)

令和4年度県病ヘリ出動に係る傷病者の搬送先医療機関(施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く) (単位:件)

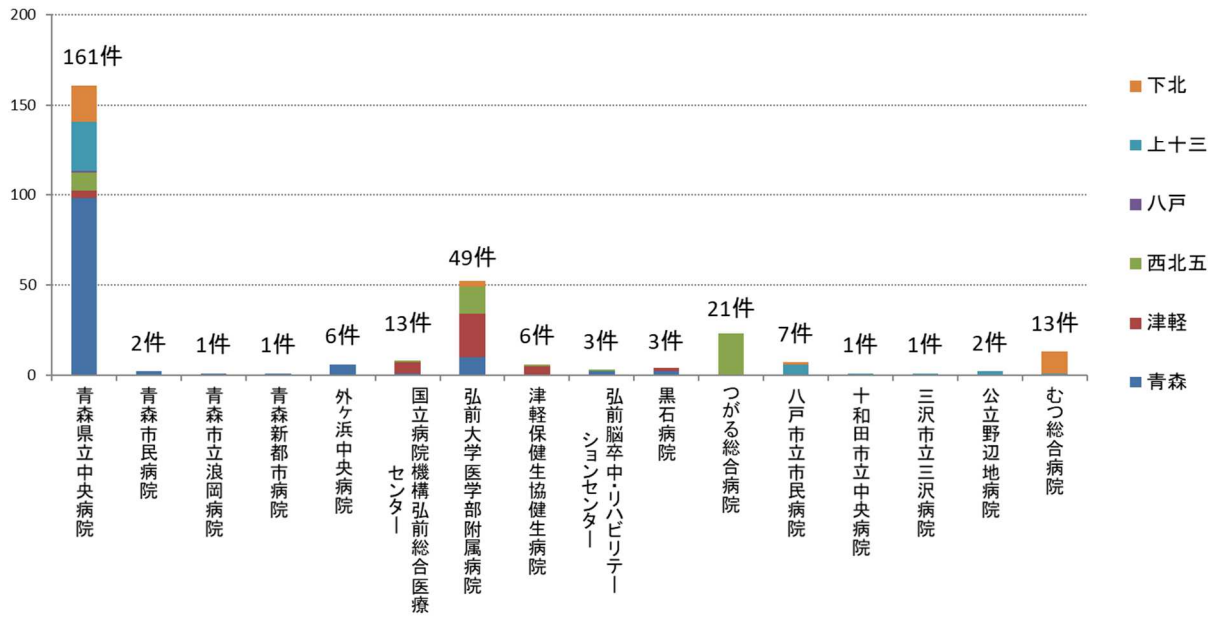
	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	秋田県	合計
青森県立中央病院	98	4	10	1	28	20		161件
青森市民病院	2							2件
青森市立浪岡病院	1							1件
青森新都市病院	1							1件
外ヶ浜中央病院	6							6件
国立病院機構弘前総合医療センター	1	6	1					13件
弘前大学医学部附属病院	10	24	15			3	2	49件
津軽保健生協健生病院		5	1					6件
弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	2		1					3件
黒石病院	2	2						3件
つがる総合病院			23					21件
八戸市立市民病院					6	1		7件
十和田市立中央病院					1			1件
三沢市立三沢病院					1			1件
公立野辺地病院					2			2件
むつ総合病院					1	12		13件
合計	123件	41件	51件	1件	39件	36件	2件	293件

令和3年度県病ヘリ出動に係る傷病者の搬送先医療機関(施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く) (単位:件)

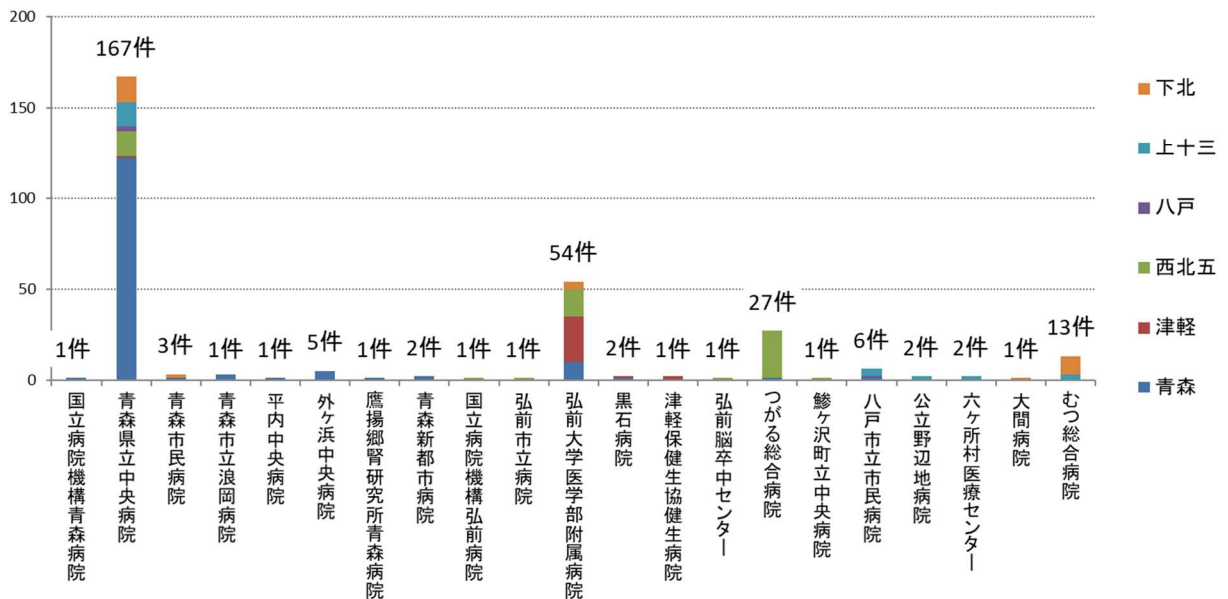
	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	秋田県	合計
国立病院機構青森病院	1							1件
青森県立中央病院	122	1	14	3	13	14		167件
青森市民病院	1					2		3件
青森市立浪岡病院	3							1件
平内中央病院	1							1件
外ヶ浜中央病院	5							5件
鷹揚郷腎研究所青森病院	1							1件
青森新都市病院	2							2件
国立病院機構弘前病院			1					1件
弘前市立病院			1					1件
弘前大学医学部附属病院	10	25	15			4		54件
黒石病院	1	1						2件
津軽保健生協健生病院		2						1件
弘前脳卒中センター			1					1件
つがる総合病院	1		26					27件
鱒ヶ沢町立中央病院			1					1件
八戸市立市民病院	1			1	4			6件
公立野辺地病院					2			2件
六ヶ所村医療センター					2			2件
大間病院						1		1件
むつ総合病院					3	10		13件
合計	149件	29件	59件	4件	24件	31件		296件

【図表 2-3-2】 県病へり出動に係る傷病者の搬送先医療機関（グラフ）

R4年度県病へり出動に係る傷病者の搬送先医療機関  
（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）



R3年度県病へり出動に係る傷病者の搬送先医療機関  
（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）



b 八戸へり

八戸へりの出動に係る傷病者の搬送先医療機関は、図表 2-3-3 から 2-3-4 とおりである。

八戸へりの搬送先医療機関は、基地病院である八戸市立市民病院が最も多く、次いで十和田市立中央病院、県立中央病院及び三沢市立三沢病院となっている。

【図表 2-3-3】 八戸へり出動に係る傷病者の搬送先医療機関（表）

令和4年度八戸へり出動に係る傷病者の搬送先医療機関（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

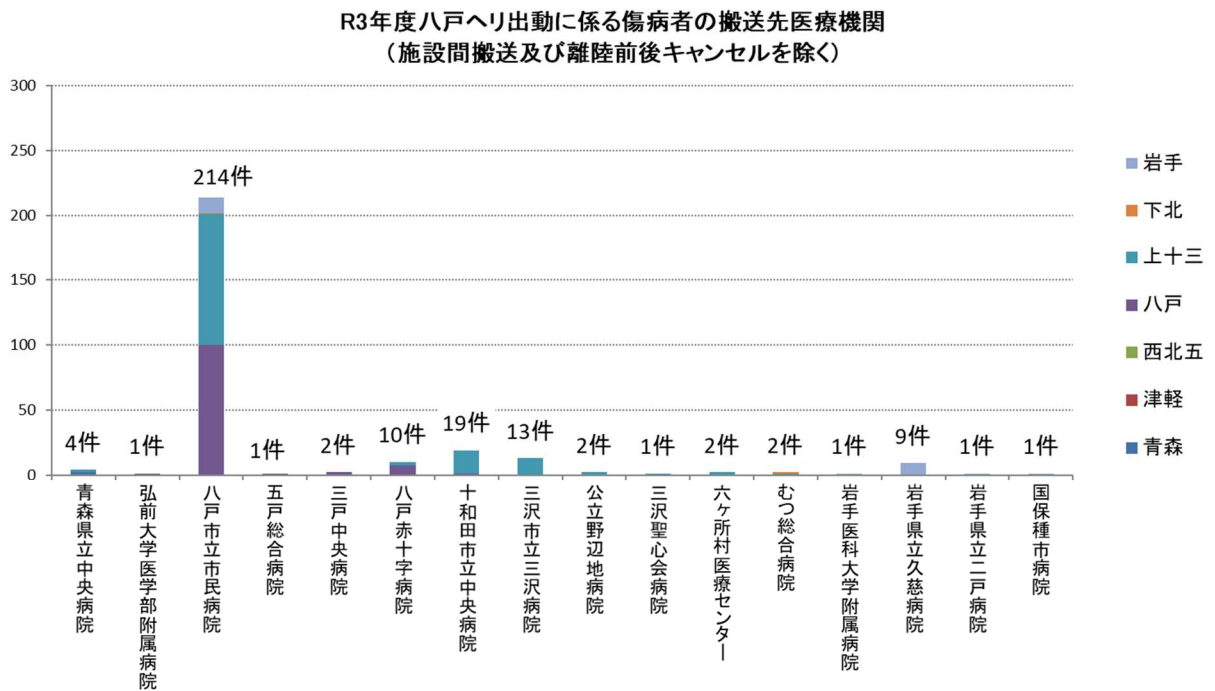
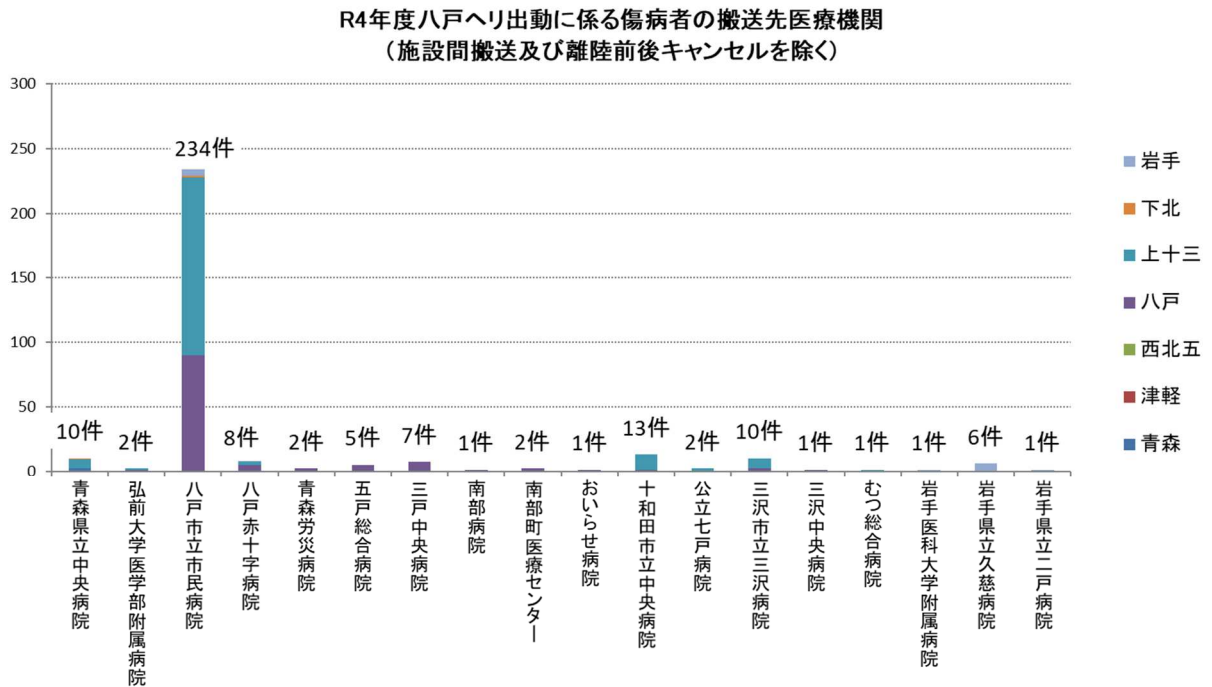
	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	岩手	秋田	合計
青森県立中央病院	2				7	1			10件
弘前大学医学部附属病院				1	1				2件
八戸市立市民病院				90	138	1	5		234件
八戸赤十字病院				5	2		1		8件
青森労災病院				2					2件
五戸総合病院				5					5件
三戸中央病院				7					7件
南部病院				1					1件
南部町医療センター				2					2件
おいらせ病院				1					1件
十和田市立中央病院				1	12				13件
公立七戸病院					2				2件
三沢市立三沢病院				2	8				10件
三沢中央病院				1					1件
むつ総合病院					1				1件
岩手医科大学附属病院							1		1件
岩手県立久慈病院							6		6件
岩手県立二戸病院							1		1件
合計	2件			118件	171件	2件	14件		307件

令和3年度八戸へり出動に係る傷病者の搬送先医療機関（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	岩手	秋田	合計
青森県立中央病院	2				2				4件
弘前大学医学部附属病院				1					1件
八戸市立市民病院				100	101	1	12		214件
五戸総合病院				1					1件
三戸中央病院				2					2件
八戸赤十字病院				7	3				10件
十和田市立中央病院				1	18				19件
三沢市立三沢病院					13				13件
公立野辺地病院					2				2件
三沢聖心会病院					1				1件
六ヶ所村医療センター					2				2件
むつ総合病院					1	1			2件
岩手医科大学附属病院							1		1件
岩手県立久慈病院							9		9件
岩手県立二戸病院							1		1件
国保種市病院							1		1件
合計	2件			112件	143件	2件	24件		283件



【図表 2-3-4】 八戸へり出動に係る傷病者の搬送先医療機関（グラフ）



(4) ドクターヘリ出動に係る傷病者の疾患分類

a 県病ヘリ

県病ヘリが出動した際の傷病者の疾患分類（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）は図表2-4-1から2-4-2のとおりである。

令和4年度においても中枢神経系疾患の件数が最多となっている。

【図表2-4-1】県病ヘリ出動に係る傷病者の疾患分類（表）

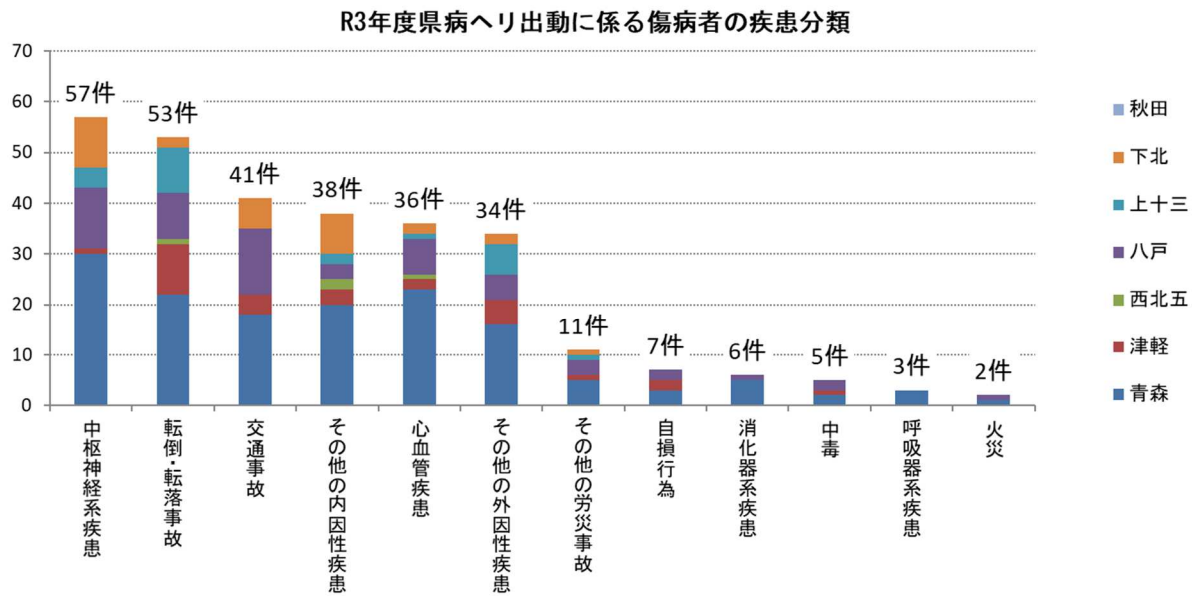
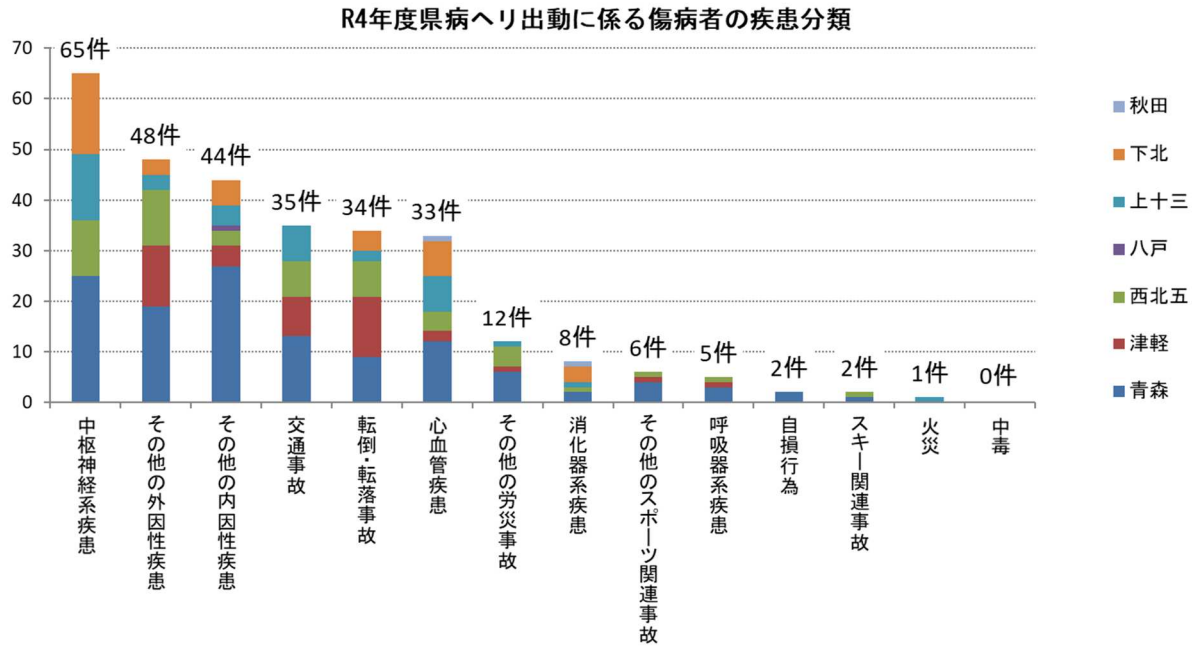
令和4年度県病ヘリ出動に係る傷病者の疾患分類（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	秋田	総計	増減
中枢神経系疾患	25		11		13	16		65件	8
その他の外因性疾患	19	12	11		3	3		48件	14
その他の内因性疾患	27	4	3	1	4	5		44件	6
交通事故	13	8	7		7			35件	△6
転倒・転落事故	9	12	7		2	4		34件	△19
心血管疾患	12	2	4		7	7	1	33件	△3
その他の労災事故	6	1	4		1			12件	1
消化器系疾患	2		1		1	3	1	8件	2
その他のスポーツ関連事故	4	1	1					6件	6
呼吸器系疾患	3	1	1					5件	2
自損行為	2							2件	△5
スキー関連事故	1		1					2件	2
火災					1			1件	△1
中毒									△5
総計	79件	29件	29件	1件	23件	19件	2件	295件	2

令和3年度県病ヘリ出動に係る傷病者の疾患分類（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	秋田	総計
中枢神経系疾患	30	1		12	4	10		57件
転倒・転落事故	22	10	1	9	9	2		53件
交通事故	18	4		13		6		41件
その他の内因性疾患	20	3	2	3	2	8		38件
心血管疾患	23	2	1	7	1	2		36件
その他の外因性疾患	16	5		5	6	2		34件
その他の労災事故	5	1		3	1	1		11件
自損行為	3	2		2				7件
消化器系疾患	5			1				6件
中毒	2	1		2				5件
呼吸器系疾患	3							3件
火災	1			1				2件
総計	118件	28件	4件	46件	19件	21件		293件

【図表 2-4-2】 県病へり出動に係る傷病者の疾患分類（グラフ）



b 八戸ヘリ

八戸ヘリが搬送した傷病者の症例別事案数（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）は図表2-4-3から2-4-4のとおりである。

令和4年度においても中枢神経系疾患の件数が最多となっている。

【図表2-4-3】八戸ヘリ出動に係る傷病者の疾患分類（表）

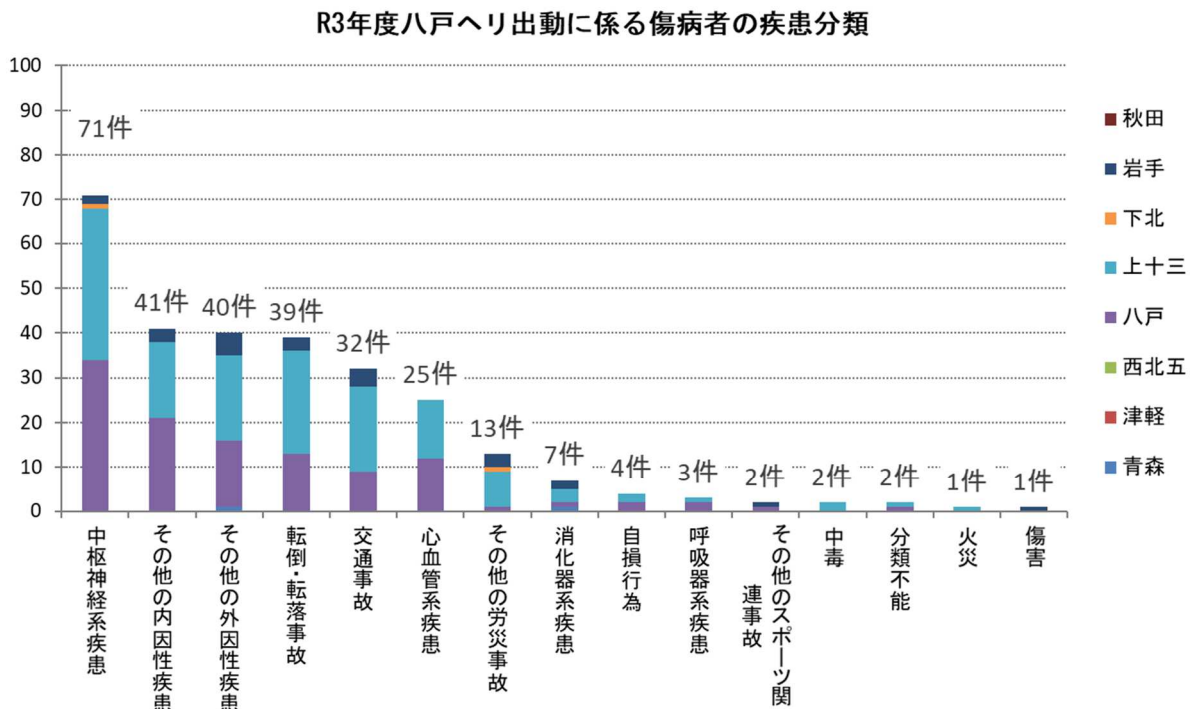
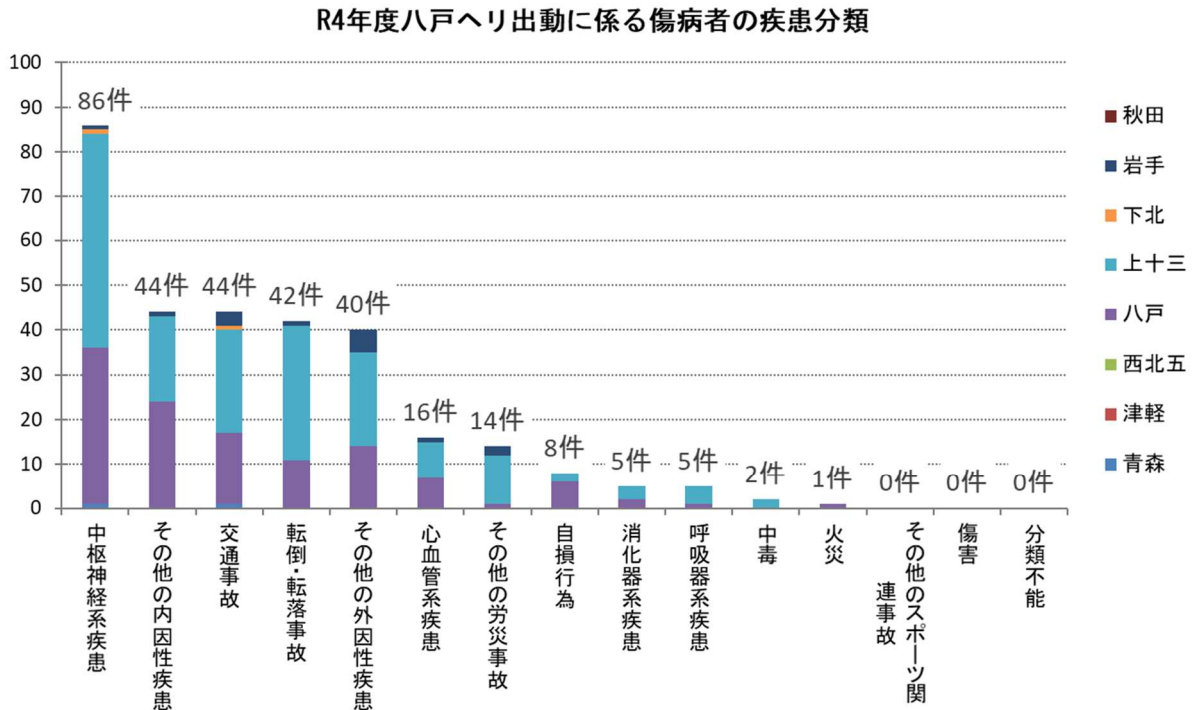
令和4年度八戸ヘリ出動に係る傷病者の疾患分類（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	岩手	秋田	総計	増減
中枢神経系疾患	1			35	48	1	1		86件	15
その他の内因性疾患				24	19		1		44件	3
交通事故	1			16	23	1	3		44件	12
転倒・転落事故				11	30		1		42件	3
その他の外因性疾患				14	21		5		40件	
心血管系疾患				7	8		1		16件	△9
その他の労災事故				1	11		2		14件	1
自損行為				6	2				8件	4
消化器系疾患				2	3				5件	△2
呼吸器系疾患				1	4				5件	2
中毒					2				2件	
火災				1					1件	
その他のスポーツ関連事故										△2
傷害										△1
分類不能										△2
総計	2件			118件	171件	2件	14件		307件	24件

令和3年度八戸ヘリ出動に係る傷病者の疾患分類（施設間搬送及び離陸前後キャンセルを除く）（単位：件）

	青森	津軽	西北五	八戸	上十三	下北	岩手	秋田	総計
中枢神経系疾患				34	34	1	2		71件
その他の内因性疾患				21	17		3		41件
その他の外因性疾患	1			15	19		5		40件
転倒・転落事故				13	23		3		39件
交通事故				9	19		4		32件
心血管系疾患				12	13				25件
その他の労災事故				1	8	1	3		13件
消化器系疾患	1			1	3		2		7件
自損行為				2	2				4件
呼吸器系疾患				2	1				3件
その他のスポーツ関連事故				1			1		2件
中毒					2				2件
分類不能				1	1				2件
火災					1				1件
傷害							1		1件
総計	2件			112件	143件	2件	24件		283件

【図表 2-4-4】 八戸へり出動に係る傷病者の疾患分類（グラフ）

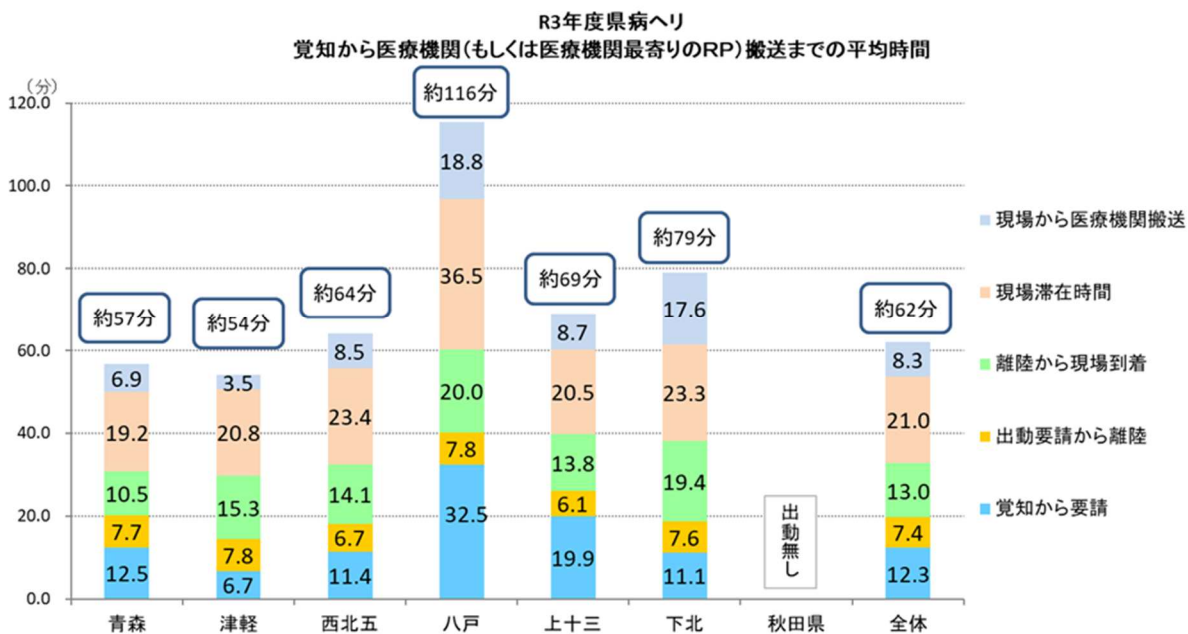
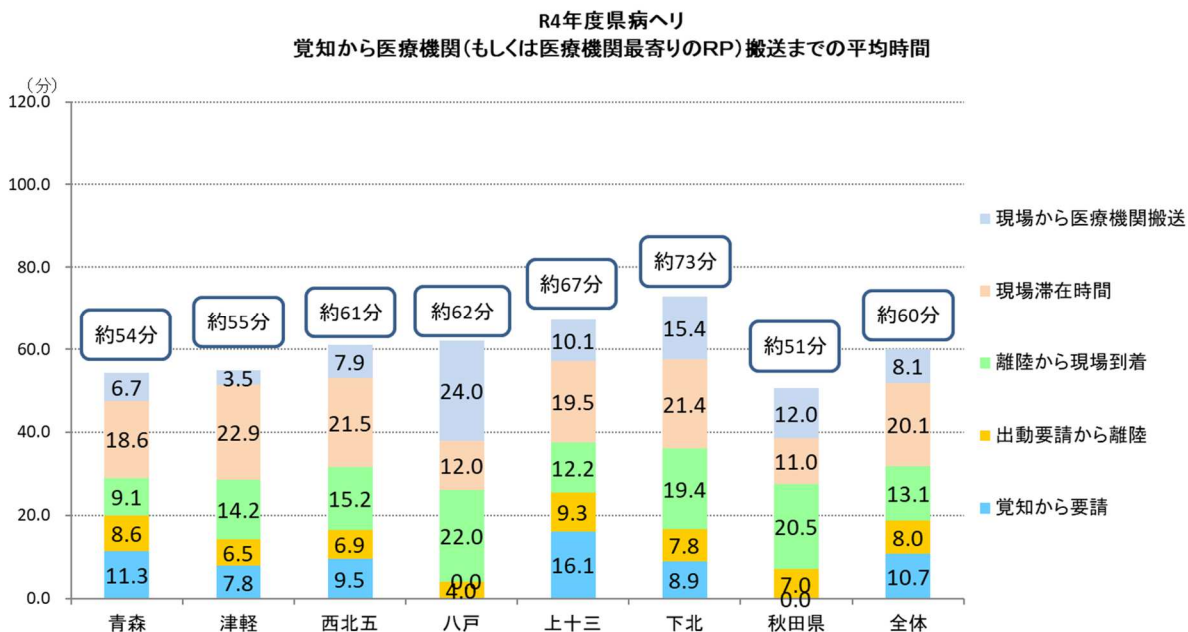


(5) 覚知から医療機関搬送までの時間

a 県病への覚知から医療機関搬送までの平均時間

消防機関の覚知から医療機関搬送までの時間については、図表2-5-1のとおりである。

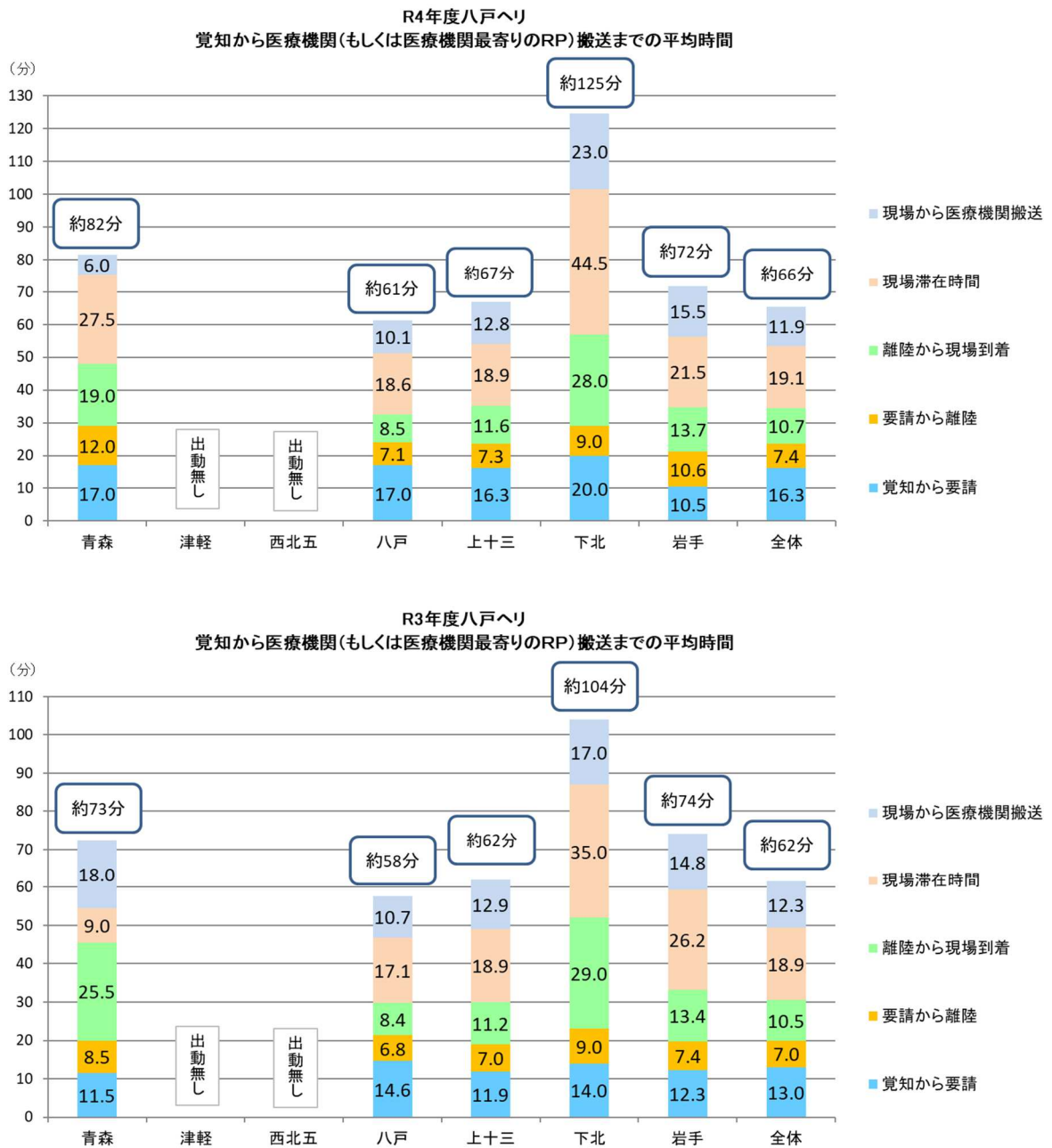
【図表2-5-1】 県病への覚知から医療機関搬送までの平均時間



b 八戸への覚知から医療機関搬送までの平均時間

消防機関の覚知から医療機関搬送までの時間については、図表2-5-2のとおりである。

【図表2-5-2】八戸への覚知から医療機関搬送までの平均時間



## 令和4年度の施設間搬送の報告（P.31～34）

### ○ 施設間搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関（P.31～34）

- ・ 患者の搬送先医療機関として、県立中央病院、八戸市立市民病院及び弘前大学医学部附属病院が8割以上を占めている。この要因として、3病院が県内の高次・専門医療機能を担っていることのほか、青森県立中央病院及び八戸市立市民病院はドクターヘリの基地病院であること、弘前大学医学部附属病院は県内で唯一の高度救命救急センターであり、心臓外科や循環器内科などの専門的かつ高度な医療の提供体制が充実している医療機関であることが考えられる。また、地理的に青森県の中央部、東部、西部にそれぞれ位置し、ヘリポートを備えているため、周辺地域からの搬送時間が短くなることも考えられる。
- ・ 搬送患者の症例をみると、県病ヘリでは「その他内因性疾患」が最も多く、その次に「心血管疾患」が続いている。八戸ヘリでは「中枢神経系疾患」が最も多く、その次に「心血管疾患」が続いている。



### 3 令和4年度の施設間搬送に係る運航実績の報告

#### (1) 県病へリ

##### a 施設間搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関

県病へリの施設間搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関は、図表3-1-1のとおりである。

搬送先医療機関は、青森県立中央病院が最も多く、次いで八戸市立市民病院となっている。

【図表3-1-1】施設間搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関（県病へリ）

R4年度\_県病へリ  
施設間搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関（単位：件）

	搬送先医療機関							合計
	青森県立中央病院	青森市民病院	国立病院機構弘前総合医療センター	弘前大学医学部附属病院	八戸市立市民病院	大間病院	大館市立総合病院	
依頼元医療機関	青森県立中央病院			1	8	1		10件
	国立病院機構弘前総合医療センター	1						1件
	弘前大学医学部附属病院	2					2	4件
	津軽保健生協健生病院	1						1件
	黒石病院	1						1件
	つがる総合病院	1			1			2件
	公立野辺地病院	1						1件
	六ヶ所村医療センター	1						1件
	むつ総合病院	5		1	4			10件
	大間病院	3	1					4件
	大館市立総合病院			1				1件
	合計	16件	1件	2件	6件	8件	1件	2件

R3年度\_県病へリ  
施設間搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関（単位：件）

	搬送先医療機関						合計	
	青森県立中央病院	弘前大学医学部附属病院	つがる総合病院	八戸市立市民病院	むつ総合病院	十和田市立中央病院		
依頼元医療機関	青森県立中央病院		4		3		1	8件
	弘前大学医学部附属病院	2		3		1		6件
	つがる総合病院		2					2件
	八戸市立市民病院	1						1件
	六ヶ所村医療センター	1						1件
	むつ総合病院	7	4					11件
	大間病院	1						1件
合計	12件	10件	3件	3件	1件	1件	30件	

b 施設間搬送患者の症例

県病への施設間搬送患者の症例は、図表3-1-2のとおりである。

「その他の内因性疾患」が最も多く、その次に「心血管疾患」が続いている。

【図表3-1-2】施設間搬送患者の症例（県病へり）

R4年度県病へり  
施設間搬送患者の症例（単位：件）

		その他の 内因性 疾患	心血管 疾患	中枢神経 系疾患	交通事故	呼吸器系 疾患	消火器系 疾患	その他の 外因性 疾患	転倒・転落 事故	火災	自損行為	合計
依頼元 医療機 関	青森県立中央病院	10										10件
	国立病院機構弘前総合医療センター		1									1件
	弘前大学医学部附属病院				1				1	1	1	4件
	津軽保健生協健生病院		1									1件
	黒石病院	1										1件
	つがる総合病院	1				1						2件
	公立野辺地病院		1									1件
	六ヶ所村医療センター					1						1件
	むつ総合病院	3	2	2	1		1	1				10件
	大間病院	1		1	1		1					4件
	大館市立総合病院			1								1件
合計	16件	5件	4件	3件	2件	2件	1件	1件	1件	1件	36件	

R3年度県病へり  
施設間搬送患者の症例（単位：件）

		心血管疾 患	その他の 内因性疾 患	火災	中枢神経 系疾患	消化器系 疾患	転倒・転落 事故	自損行為	中毒	合計
依頼元 医療機 関	青森県立中央病院	4	3		1					8件
	弘前大学医学部附属病院		1	2			1	1	1	6件
	つがる総合病院	2								2件
	八戸市立市民病院		1							1件
	六ヶ所村医療センター		1							1件
	むつ総合病院	5	3	1	1	1				11件
	大間病院		1							1件
合計	11件	10件	3件	2件	1件	1件	1件	1件	30件	

(2) 八戸へリ

a 施設間搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関

八戸へリの施設間搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関は、図表3-2-1のとおりである。

搬送先医療機関は、八戸市立市民病院が最も多く、次いで弘前大学医学部附属病院となっている。

【図表3-2-1】施設間搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関

R4年度八戸へリ  
転院搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関（単位：件）

	搬送先医療機関				合計	
	弘前大学医学部附属病院	八戸市立市民病院	大間病院	岩手医科大学附属病院		
依頼元医療機関	弘前大学医学部附属病院	3			3件	
	黒石病院	1			1件	
	労働者健康安全機構青森労災病院			1	1件	
	八戸市立市民病院	7	1	1	9件	
	八戸赤十字病院			1	1件	
	五戸総合病院		5		5件	
	三戸中央病院		1		1件	
	南部病院		1		1件	
	十和田市立中央病院	2	4		6件	
	十和田第一病院		2		2件	
	公立七戸病院		1		1件	
	ちびき病院		1		1件	
	三沢市立三沢病院		4		4件	
	六ヶ所村医療センター		7		7件	
	むつ総合病院		4		4件	
	大間病院		3		3件	
	岩手県立二戸病院			1	1件	
	合計	9件	37件	1件	4件	51件

R3年度八戸へリ  
転院搬送の依頼元医療機関及び搬送先医療機関（単位：件）

	搬送先医療機関				合計	
	青森県立中央病院	弘前大学医学部附属病院	八戸市立市民病院	岩手医科大学附属病院		
依頼元医療機関	はまなす医療療育センター		1		1件	
	八戸市立市民病院		7	1	7	15件
	五戸総合病院			5	5件	
	三戸中央病院			4	4件	
	八戸赤十字病院			2	2件	
	八戸平和病院		1		1件	
	十和田市立中央病院			1	1件	
	公立七戸病院			1	1件	
	三沢市立三沢病院		1		1件	
	三沢中央病院			1	1件	
	六ヶ所医療センター			3	3件	
	むつ総合病院	1			1件	
	岩手県立久慈病院		1	2	3件	
	合計	1件	11件	18件	9件	39件

b 施設間搬送患者の症例

八戸への施設間搬送患者の症例は、図表3-2-2のとおりである。

「中枢神経系疾患」が最も多く、その次に「心血管系疾患」が続いている。

【図表3-2-2】施設間搬送患者の症例

R4年度\_八戸へり  
施設間搬送患者の症例 (単位:件)

		中枢神経系疾患	心血管系疾患	その他の内因性疾患	呼吸器系疾患	交通事故	消化器系疾患	その他の外因性疾患	中毒	その他の労災事故	合計
依頼元医療機関	弘前大学医学部付属病院	1	1	1							3件
	黒石病院	1									1件
	労働者健康安全機構青森労災病院						1				1件
	八戸市立市民病院		4	3		1	1				9件
	八戸赤十字病院			1							1件
	五戸総合病院	2	1		2						5件
	三戸中央病院		1								1件
	南部病院						1				1件
	十和田市立中央病院	3	1			1			1		6件
	十和田第一病院		1		1						2件
	公立七戸病院			1							1件
	ちびき病院								1		1件
	三沢市立三沢病院			4							4件
	六ヶ所村医療センター	1	3	1	1			1			7件
	むつ総合病院	3				1					4件
	大間病院	2								1	3件
岩手県立二戸病院					1					1件	
合計		13件	12件	11件	4件	4件	3件	2件	1件	1件	51件

R3年度\_八戸へり  
施設間搬送患者の症例 (単位:件)

		心血管系疾患	その他の内因性疾患	中枢神経系疾患	その他の労災事故	交通事故	消化器系疾患	その他の外因性疾患	合計
依頼元医療機関	はまなす医療療育センター		1						1件
	八戸市立市民病院	7	4		2		1	1	15件
	五戸総合病院	4		1					5件
	三戸中央病院	2		2					4件
	八戸赤十字病院	1					1		2件
	八戸平和病院		1						1件
	十和田市立中央病院	1							1件
	公立七戸病院	1							1件
	三沢市立三沢病院		1						1件
	三沢中央病院	1							1件
	六ヶ所医療センター			2		1			3件
	むつ総合病院	1							1件
	岩手県立久慈病院	3							3件
合計		21件	7件	5件	2件	1件	2件	1件	39件

## 2 機体制による効果の報告（P. 36）

### ○ 2 機体制による効果（P. 36）

- ・ 本県は、平成 24 年 10 月から県立中央病院及び八戸市立市民病院を基地病院とした 2 機体制での運用を開始し、1 機体制では対応できなかった事案にも対応できるようになった。
- ・ 2 機体制による効果として捉えられる事案は、次の場合となる。
  - （1）一方のドクターヘリが他事案対応中に、新たな要請事案があり、もう一方が対応した場合
    - ① 2 機同時に出動していた事案
    - ② 第 1 病院が出動中のため第 2 病院が出動した事案
  - （2）一方のドクターヘリが天候不良で対応できない場合で、もう一方が対応した場合
  - （3）一方のドクターヘリが（1）、（2）以外の何らかの理由で対応できなかった場合で、もう一方が対応した場合
- ・ 2 機体制による効果として捉えられる事案で最も多いのは、（1）の「一方のドクターヘリが他事案対応中に、新たな要請事案があり、もう一方が対応した場合」で、全体の 90%以上を占めている。
- ・ 令和 4 年度は 111 件で、前年度より 35 件増加し、2 機体制による効果は十分発揮されていると考えられる。

## 4 2機体制による効果の報告

本県では、平成24年10月から県病及び八戸市立市民病院の2機体制とした。

2機体制による効果を定量的に測る指標として、図表4のとおり1機体制では対応できなかった事案をまとめた。

これは、2機同時に出動していた事案及び第1病院が出動中のため、第2病院が対応した事案のほか、第1病院が天候不良のため、第2病院が対応した事案であり、1機体制では不出動とされた事案である。

平成26年度以降は100件程度で推移しており、令和2及び3年度は減少するも、令和4年度は111件で、前年度より35件増加した。

【図表4】2機体制による効果

(単位：件)

